

2021年3月期 第2四半期 決算説明資料

2020年12月11日



ダイワホールディングス株式会社

(証券コード : **3107**)

1. 特別調査委員会の調査報告書について
2. 2021年3月期 第2四半期決算
3. 2021年3月期 通期業績見通し
4. ITインフラ流通事業

【参考資料】

- ▶ 会社概要
- ▶ 業績推移グラフ

本資料に基づく決算説明動画を後日当社WEBサイト (<https://www.daiwabo-holdings.com/>) に公開予定です

特別調査委員会の調査報告書について

■ 調査結果の概要

- ・ 繊維事業の連結子会社である旧ダイワボウノイ株式会社（※1）において、2014年から2020年の6年間にわたり、元従業員（行為者）が単独で架空循環取引（※2）を実行していた
 - ※1：2020年4月に繊維事業中核会社の大和紡績株式会社が吸収合併
 - ※2：ノイ社を含む複数社間で実際に製品の受渡が行われない帳票だけの架空取引を実施して資金循環をしていた
- ・ 行為者はノイ社および関与会社に対して、書類の偽造や虚偽の説明により不適切な取引であることを隠蔽しており、ノイ社および関与会社に本件取引が架空ないしは循環取引である認識があったとは認められない

■ 2021年3月期第2四半期決算への直接的な影響額

【繊維事業】

- ・ 当期セグメント情報の繊維事業に右記金額を反映しております
- ・ 過年度決算については各四半期の影響額を算定の上、連結財務諸表等に重要な影響を与えるものではないと判断したため訂正しておりません

売上高への影響額	△640百万円
営業利益への影響額	△1,994百万円

■ 特別調査委員会による再発防止策の提言

1. 経営トップの強いリーダーシップによる社風の改革
2. 業務手順規定の策定
3. 内部統制システムの改善と適切な運用
4. 偽造文書等への対策
5. 内部通報制度の充実
6. 適切な人員の配置及び採用
7. システム改修にも「不正の抑止」機能を強化すべきである
8. グループ体制のあり方

特別調査委員会の提言を真摯に受け止め、速やかに再発防止策を策定してまいります

本社所在地	〒541-0056 大阪市中央区久太郎町3丁目6番8号		
設立日	大和紡績として創立	1941年4月1日	
	ダイワボウホールディングス設立	2009年7月1日	
連結従業員数	5,654名（2020年3月末現在）		
資本金	216億9,674万4,900円		
株式	東証1部上場	証券コード 3107	業種：卸売業 <JPX日経インデックス400構成銘柄>
事業内容	ITインフラ流通事業	コンピュータ・周辺機器・ソフトウェアの販売 および物流サービス業 コンピュータ機器等の導入・保守・修理サービス業	
	[中核会社]  ダイワボウ情報システム株式会社		
	繊維事業	化合繊維、不織布製品、産業資材関連製品、衣料・リビング製品用テキスタイルおよび最終製品の製造販売業	
	[中核会社]  大和紡績株式会社		
産業機械事業	工作機械、自動機械および鋳物製品の製造販売業		
[中核会社]  株式会社 オーエム製作所			
その他事業	ホテル業、エンジニアリング業		

- 2020年代の成長戦略に向けた効率的で機動的な経営体制への改革 -

2020.4.1

- 執行役員制度の廃止
- 当社と子会社との取締役兼任廃止
- 子会社合併による繊維事業再編

各社の責任と権限の明確化

持株会社

- グループ戦略の立案
- グループ経営資源の最適配分
- グループ業務執行の監督

事業会社

- 迅速な戦略決定
- 強力な業務執行の推進

大局的見地からグループ全体を俯瞰して
経営の意思決定の迅速化・監督機能の強化を図る



中核事業会社3社がそれぞれの事業の
業務執行の権限と責任を担う

| 2021年3月期 第2四半期決算

2021年3月期 第2四半期 (2020年4月1日～2020年9月30日)

各事業で新型コロナウイルスの影響を受けながらも
売上高・営業利益ともに前期に次ぐ過去2番目の連結業績

ITインフラ流通事業

前期までのWindows7サポート終了に伴う更新需要の反動が見られたものの、テレワーク需要によりノートPC・液晶モニタ等の関連商材について個人向け市場を中心に販売が増加するとともに、文教分野も全国的に売上が拡大

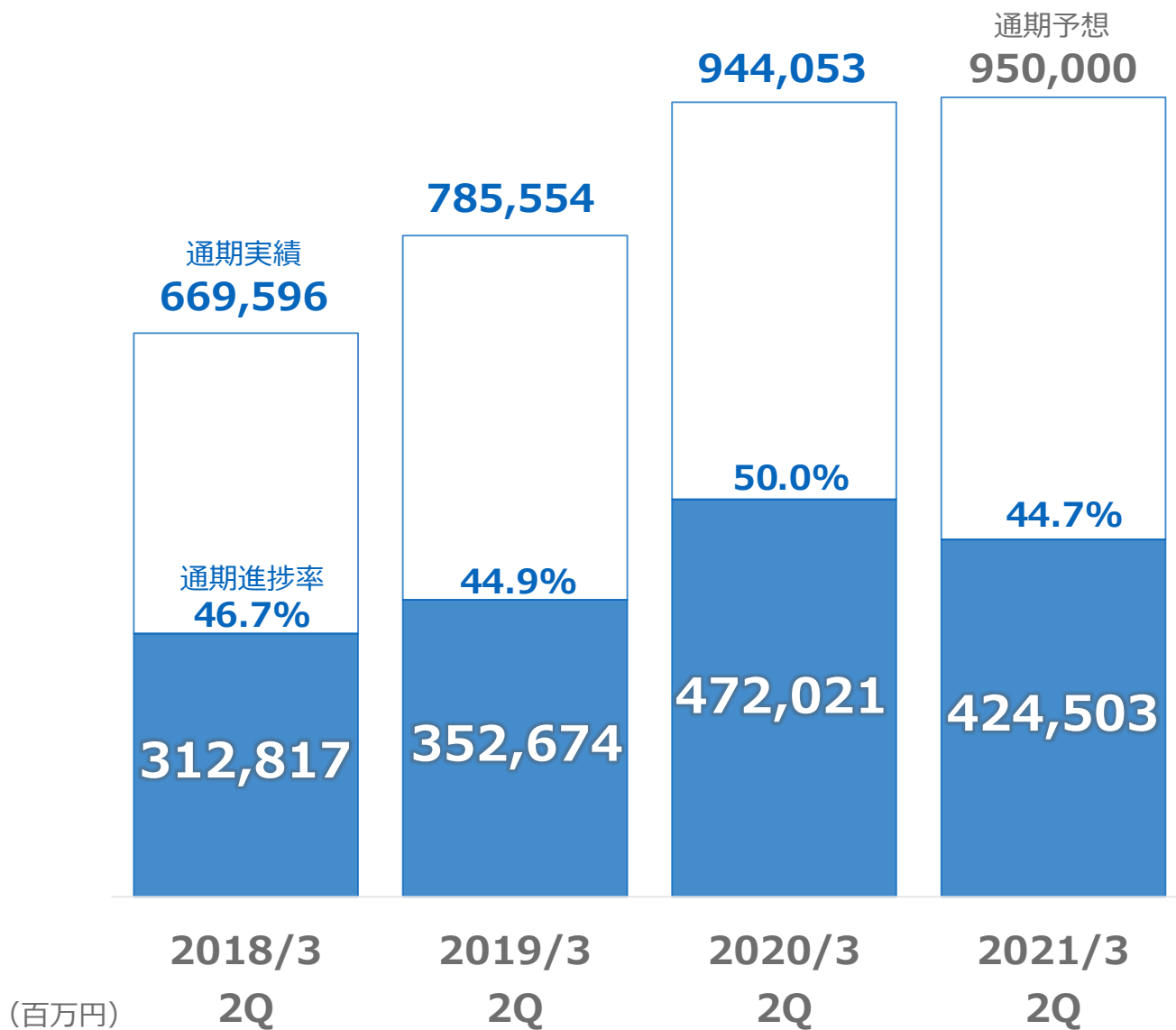
繊維事業

コスメ関連や重布製品、衣料品等は需要減少により販売が低迷したが、除菌関連向けの商品は大幅に伸長

産業機械事業

顧客における設備投資の停滞・計画延期や移動制限などの影響を受けて売上が減少

2021年3月期 2Q累計 売上高



前年同期比 Δ **10.1%**

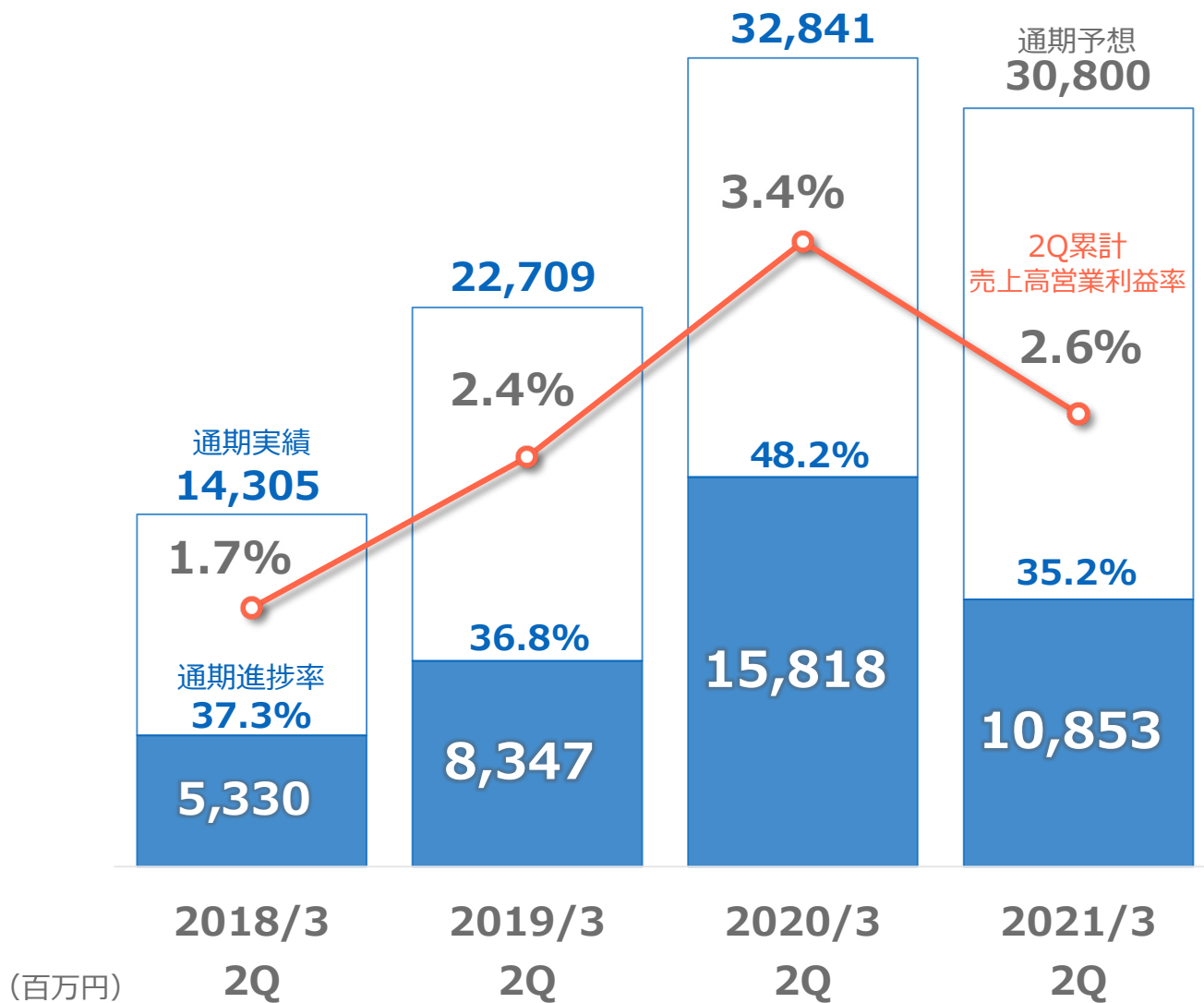
▶ 2019/3 2Q対比 **+20.4%**

▶ 3カ年平均成長率 **+10.7%**

2Q累計としては

前期に次いで過去2番目の業績

2021年3月期 2Q累計 営業利益



前年同期比 Δ **31.4%**

▶ 2019/3 2Q対比 **+30.0%**

▶ 3カ年平均成長率 **+26.7%**

売上高営業利益率 **2.6%**

2021年3月期 2Q累計 連結決算概況

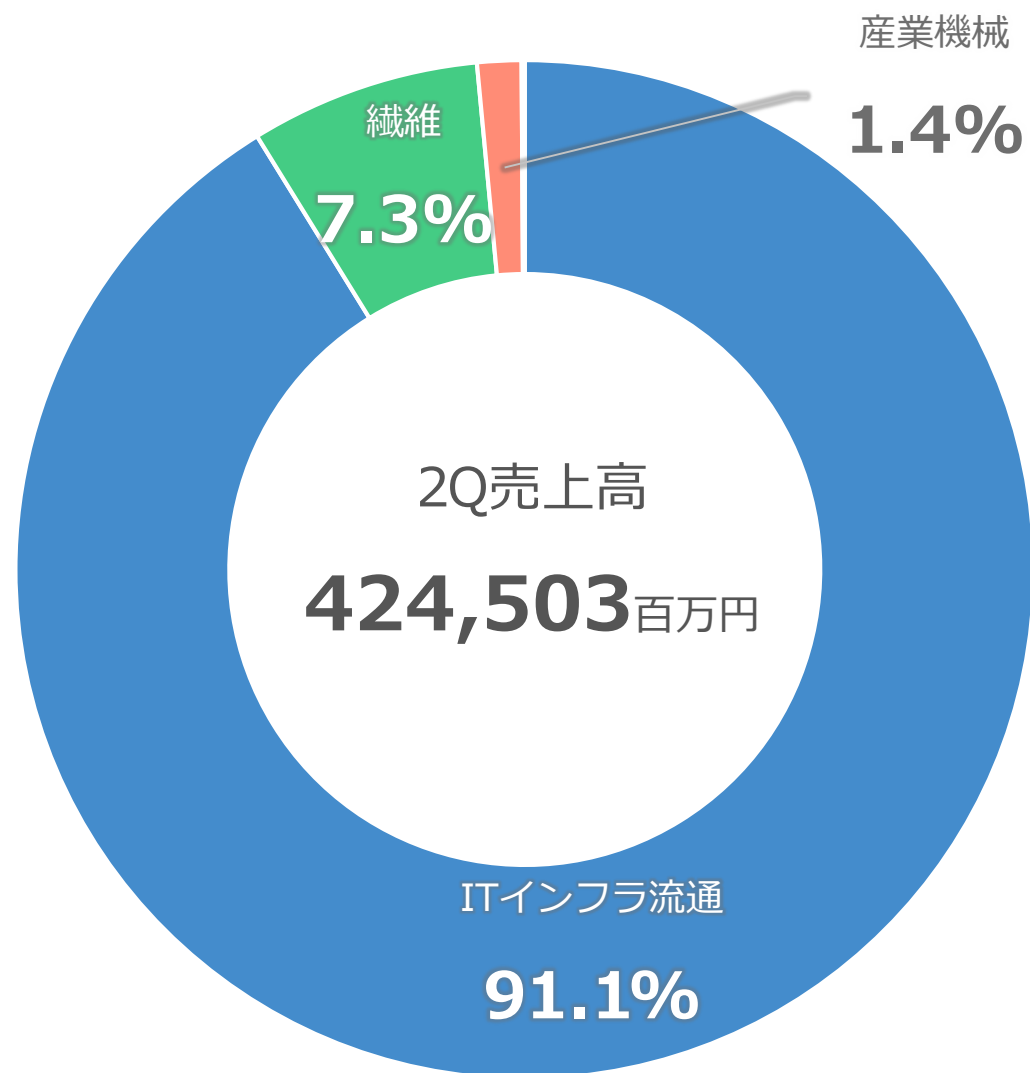
(百万円)	2020/3 2Q	2021/3 2Q	増減	前年比	通期予想	進捗率
売上高	472,021	424,503	△47,518	△10.1%	950,000	44.7%
営業利益	15,818	10,853	△4,965	△31.4%	30,800	35.2%
経常利益	15,851	11,052	△4,798	△30.3%	31,000	35.7%
親会社株主に帰属する 四半期純利益	10,608	8,803	△1,804	△17.0%	21,000	41.9%
1株当たり 四半期純利益 (円)	551.69	457.85				

(百万円)	2020/3	2020/9	増減	主な増減理由
総資産	328,813	341,705	+12,891	商品在庫の増加
純資産	104,741	110,962	+6,221	利益剰余金の増加
自己資本比率	31.6%	32.2%		

2021年3月期 2Q累計 セグメント別業績

(百万円)		2020/3 2Q	2021/3 2Q	増減	前期比
売上高	ITインフラ流通	426,806	386,870	△39,935	△9.4%
	繊維	37,675	31,179	△6,496	△17.2%
	産業機械	6,506	5,994	△512	△7.9%
	その他	1,033	459	△573	△55.5%
	合計	472,021	424,503	△47,518	△10.1%
営業利益	ITインフラ流通	13,260	10,749	△2,510	△18.9%
	繊維	2,142	△ 194	△2,337	-
	産業機械	390	375	△14	△3.8%
	その他	21	△ 77	△99	-
	(調整額)	2	0		
合計	15,818	10,853	△4,965	△31.4%	

※2020年4月1日に繊維事業の大和紡績(株)において吸収合併をしたことにより、当期よりセグメントの管理区分を一部見直しております
前期セグメント情報は変更後の報告セグメントの区分方法に基づき作成したものを開示しております



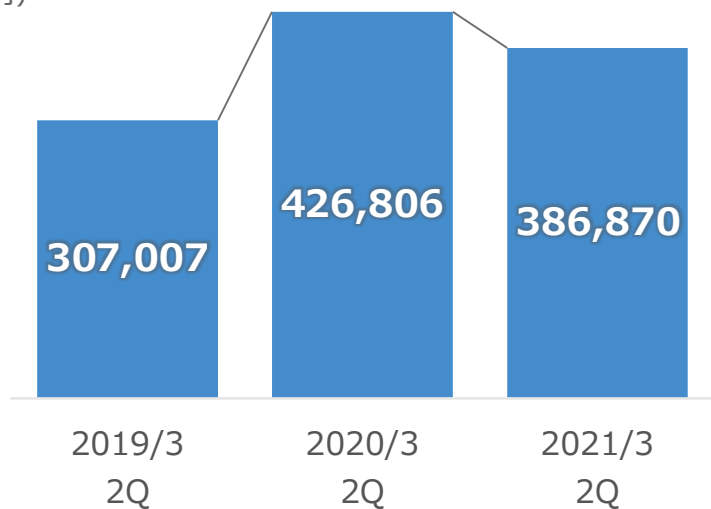
売上高構成割合

	2020/3 2Q	2021/3 2Q
ITインフラ流通	90.4%	91.1%
繊維	8.0%	7.3%
産業機械	1.4%	1.4%

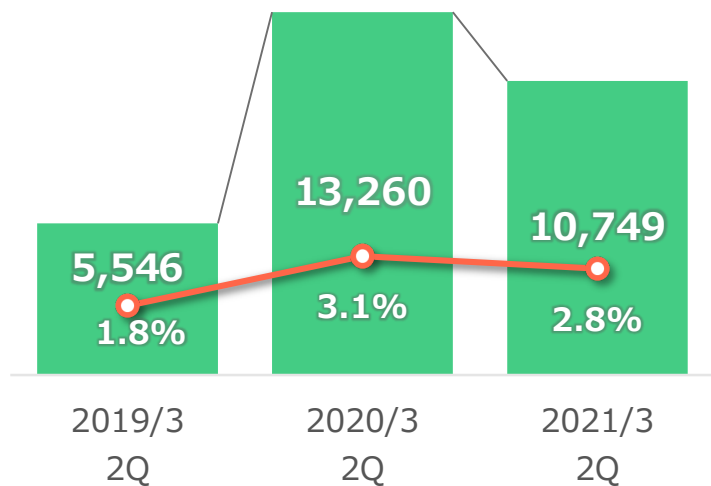
営業利益構成割合

	2020/3 2Q	2021/3 2Q
ITインフラ流通	83.8%	99.0%
繊維	13.5%	△ 1.8%
産業機械	2.5%	3.5%

(百万円)



■ 売上高 ■ 営業利益 ■ 売上高営業利益率



2Q累計売上高 386,870百万円 (前期比△9.4%)

2Q累計営業利益 10,749百万円 (前期比△18.9%)

PC出荷台数 155.7万台 (前期比△23.7%) ※前々期比+46.3%

サーバー出荷台数 2.8万台 (前期比△6.4%)

事業概況

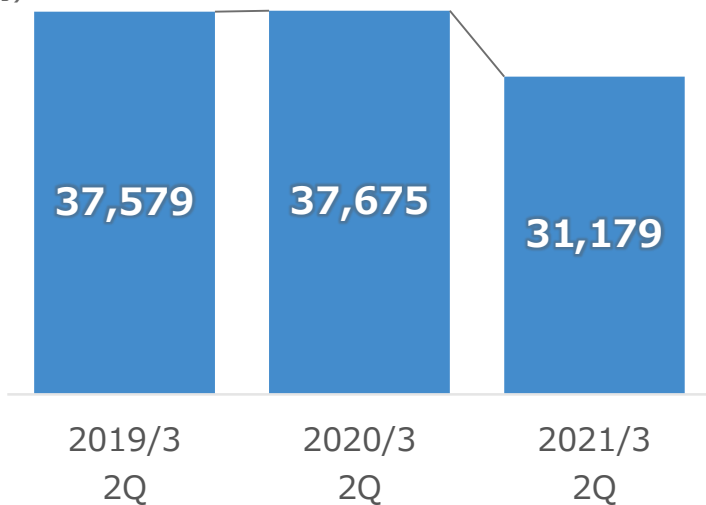
法人向け市場

- 前期のPC更新需要の反動に加えて、コロナ禍で企業の設備投資が減少したものの、テレワークの導入が加速したことでIT関連商品の需要は増加
- iKAZUCHI(雷)を通じたサブスクリプション型ビジネスの受注が拡大
- 通期にわたり案件増加が見込まれる文教分野では全国的に販売が拡大

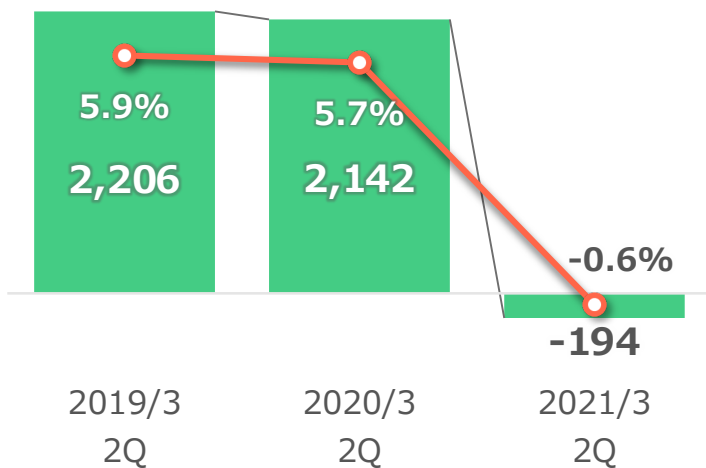
個人向け市場

- テレワークやオンライン学習の普及によりノートPCや液晶モニタ等の需要が高まり、EC販路を中心に商材確保・提案を強化したことで好調に推移

(百万円)



■ 売上高 ■ 営業利益 ■ 売上高営業利益率



2Q累計売上高 **31,179**百万円 (前期比△17.2%)

2Q累計営業利益 **△194**百万円 (前期比△2,337百万円)

	不適切取引の影響額	【参考】影響除外時	
売上高	△640百万円	31,819百万円	前期比△15.5%
営業利益	△1,994百万円	1,800百万円	前期比△16.0%

事業概況

合織・レーヨン部門

■ コスメ関連や衣料向けでは厳しい環境が続くものの、除菌関連向け商品の需要増に支えられ、販売が大幅に増加

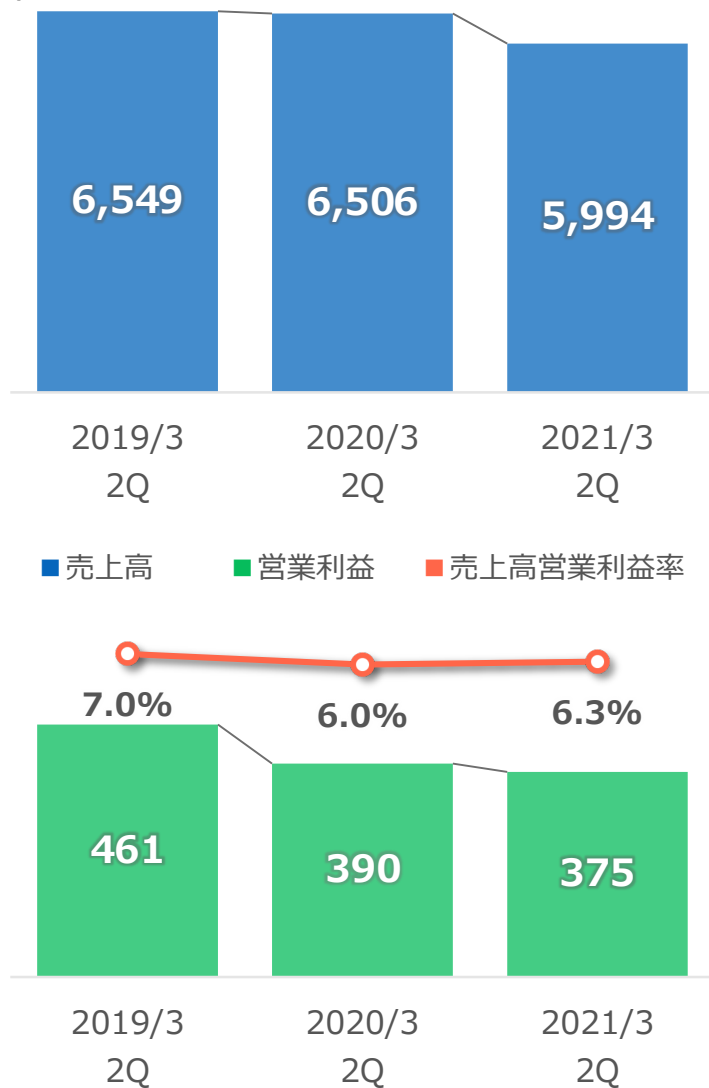
産業資材部門

■ テント・帆布などの重布関連商品において各種イベントの中止や建築工事の減少により受注が低迷

衣料製品部門

■ 抗ウイルス関連の機能性製品の販売は好調に推移したが、外出自粛等の影響によりカジュアル衣料は苦戦

(百万円)



2Q累計売上高 5,994百万円 (前期比△7.9%)

2Q累計営業利益 375百万円 (前期比△3.8%)

事業概況

工作機械部門

- 日本工作機械工業会の4～9月受注総額は前期比34.5%減となり、コロナ禍による設備投資の低迷を受けて業界全体で前年割れの水準が長期化する中で、受注高が前期比43.9%減少
- 企業の設備計画の見直しが影響し減収

自動機械部門

- 国内における自動包装機械のニーズは堅調であるものの、設備投資に対する慎重な姿勢が強まり、受注高は前期比18.1%減少

2021年3月期 上期の主な影響

ITインフラ 流通事業

- 企業の事業継続と従業員の安全確保のため、テレワークやオンライン会議の活用をはじめとしたIT環境整備が加速
- 個人向け市場を中心に在宅用途のIT関連需要が急増
ex. ノートPC
液晶モニタ、マウス、キーボード
ヘッドセット、WEBカメラ 等
- 緊急経済対策に基づく「GIGAスクール構想」の早期実現
- IT関連商品・部品の製造拠点で工場稼働が滞ることによるサプライチェーンへの影響
- 企業業績への悪影響に伴う設備投資の保留・縮小

現状サプライチェーンへの影響は限定的であるが、局地的な感染拡大等によるリスクを想定



独立系マルチベンダーとしての強みを発揮して柔軟に対応

繊維事業

- 除菌シート等の不織布やマスク用合繊綿の需要が増加
- 外出自粛等による衣料品・コスメ関連の市況悪化
- 工場稼働低下やイベント中止による産業資材の需要減

個人消費の低迷については一部で回復の兆しがみられる

産業機械事業

- 航空機関連をはじめ、企業の設備投資が停滞
- 海外向けの営業活動・出張工事が一部制限

中国市場は景気回復基調にあるが航空機関連は停滞長期化懸念

2021年3月期 2Q 連結貸借対照表 (決算短信P4-5)

(百万円)	2020/3	2020/9	増減		2020/3	2020/9	増減
流動資産	276,285	289,753	+13,467	流動負債	192,514	202,550	+10,036
現金及び預金	31,600	34,784	+3,183	支払手形及び買掛金	158,067	167,442	+9,375
受取手形及び売掛金	196,390	191,548	△4,842	短期借入金	12,608	15,634	+3,025
商品及び製品	33,341	46,635	+13,294	固定負債	31,558	28,192	△3,365
有形固定資産	39,522	38,672	△849	長期借入金	19,027	15,595	△3,431
無形固定資産	3,403	3,074	△329	負債合計	224,072	230,743	+6,670
のれん	387	197	△190	純資産合計	104,741	110,962	+6,221
その他	3,016	2,877	△139	負債純資産合計	328,813	341,705	+12,891
投資その他の資産	9,601	10,204	+602				
資産合計	328,813	341,705	+12,891				

商品及び製品	33,341	→	46,635	+13,294	下期納品に向けた在庫確保
のれん	387	→	197	△190	オーエム製作所のれん償却
借入金合計	31,635	→	31,230	△405	短期借入金 + 長期借入金

2021年3月期 2Q累計 連結損益計算書 (決算短信P6)

(百万円)	2020/3 2Q		2021/3 2Q		増減	前期比
	実績	率	実績	率		
売上高	472,021		424,503		△47,518	△10.1%
売上総利益	39,796	8.4%	33,233	7.8%		
販売費及び一般管理費	23,978	5.1%	22,379	5.3%		
営業利益	15,818	3.4%	10,853	2.6%	△4,965	△31.4%
経常利益	15,851	3.4%	11,052	2.6%	△4,798	△30.3%
特別利益	-		1,446			
特別損失	212		631			
親会社株主に帰属する 四半期純利益	10,608	2.2%	8,803	2.1%	△1,804	△17.0%

特別利益 DIS物流センター売却益（**754**百万円）、繊維事業海外工場の移転補償金（**645**百万円）

特別損失 遊休地等の減損損失（**513**百万円）

| 2021年3月期 通期業績見通し

2021年3月期 通期業績予想

(百万円)	2020/3 (実績)		2021/3 (予想)		増減	前年比
	金額	率	金額	率		
売上高	944,053		950,000		+5,946	+0.6%
ITインフラ流通	857,008		875,500		+18,491	+2.2%
繊維	*72,180		61,700		△10,480	△14.5%
産業機械	12,988		11,700		△1,288	△9.9%
営業利益	32,841	3.5%	30,800	3.2%	△2,041	△6.2%
ITインフラ流通	28,161	3.3%	29,000	3.3%	+838	+3.0%
繊維	*3,874	5.4%	1,250	2.0%	△2,624	△67.7%
産業機械	753	5.8%	600	5.1%	△153	△20.4%
経常利益	33,195	3.5%	31,000	3.3%	△2,195	△6.6%
親会社株主に帰属する 当期純利益	21,178	2.2%	21,000	2.2%	△178	△0.8%

※2020年4月1日に繊維事業の大和紡績(株)において吸収合併をしたことにより、当期よりセグメントの管理区分を一部見直しております
前期セグメント情報の繊維事業は変更後の報告セグメントの区分方法に基づき作成したものを参考数値として記載しております

ITインフラ 流通事業

法人向け市場

- ニューノーマルに対応した働き方提案によりテレワークやオンライン会議の活用を推進し、ノートPCやWEB会議システム、セキュリティの需要を発掘
- iKAZUCHI(雷)を活用したサブスクリプションビジネスにおいて、企業のクラウドへの投資意欲の高まりを捉えたビジネス展開として、複数のクラウドサービスを組み合わせて最適な環境を実現するマルチクラウドプラットフォームのプロモーションに注力

法人向け市場 (文教分野)

- GIGAスクール構想の早期実現に向けて全国の販売パートナー向けの各種サポート体制を強化するとともに、モバイル端末管理ノウハウを蓄積
- ICT環境導入後の「活用」を見据えて、電子黒板等の追加配備やデジタル教科書などの需要を取り込み、あわせて高等学校向けの提案を強化

個人向け市場

- 小学校のプログラミング学習必修化やeスポーツの盛り上がりに伴う家庭用端末の需要獲得
- 量販店・EC事業者等との協業により、中小企業・個人事業主におけるテレワーク需要へ対応するためにPC・周辺機器の提案を強化

繊維事業

合織・レーヨン部門

- 感染症対策関連の需要に対応して除菌・衛生材料分野での原綿・不織布の増産および自社工場の稼働率向上
- 制汗シートやフェイスマスク等のコスメ用途の付加価値の高い分野を再構築することで収益性改善に注力
- レーヨン分野における機能性素材の拡販と新規販路の開拓

産業資材部門

- 成長分野におけるカートリッジフィルターの需要を取り込み、顧客ニーズに合致した新規商品の展開
- 部品搬送用途や食品業界向けメッシュベルト製品の販売強化
- 生産拠点集約による工場機能の強化

衣料製品部門

- 抗ウイルス加工の衣料品・寝装品や除菌剤等の需要獲得
- 機能性素材と環境負荷低減を合わせた独自開発商品の顧客提案を推進
- 新規ブランド商品の販売拡大

産業機械事業

工作機械部門

- サービス業務体制の拡充によるアフターサービスの強化
- 製品提案力およびブランドの向上を図るソリューションを推進
- 鉄道業界向け事業の体制強化

自動機械部門

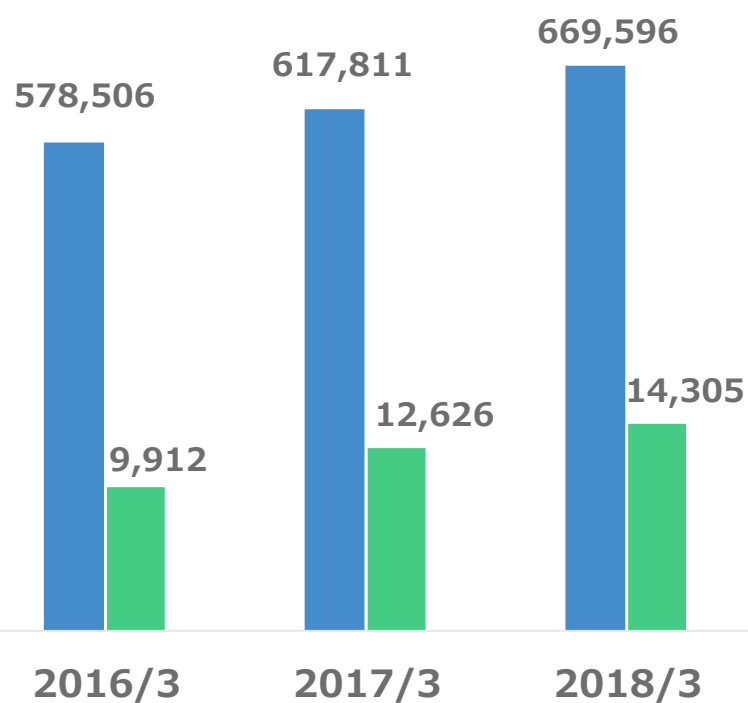
- ロボットを活用しての自動供給装置等の開発
- 関東地方におけるサービス体制の強化

中期経営計画の進捗状況

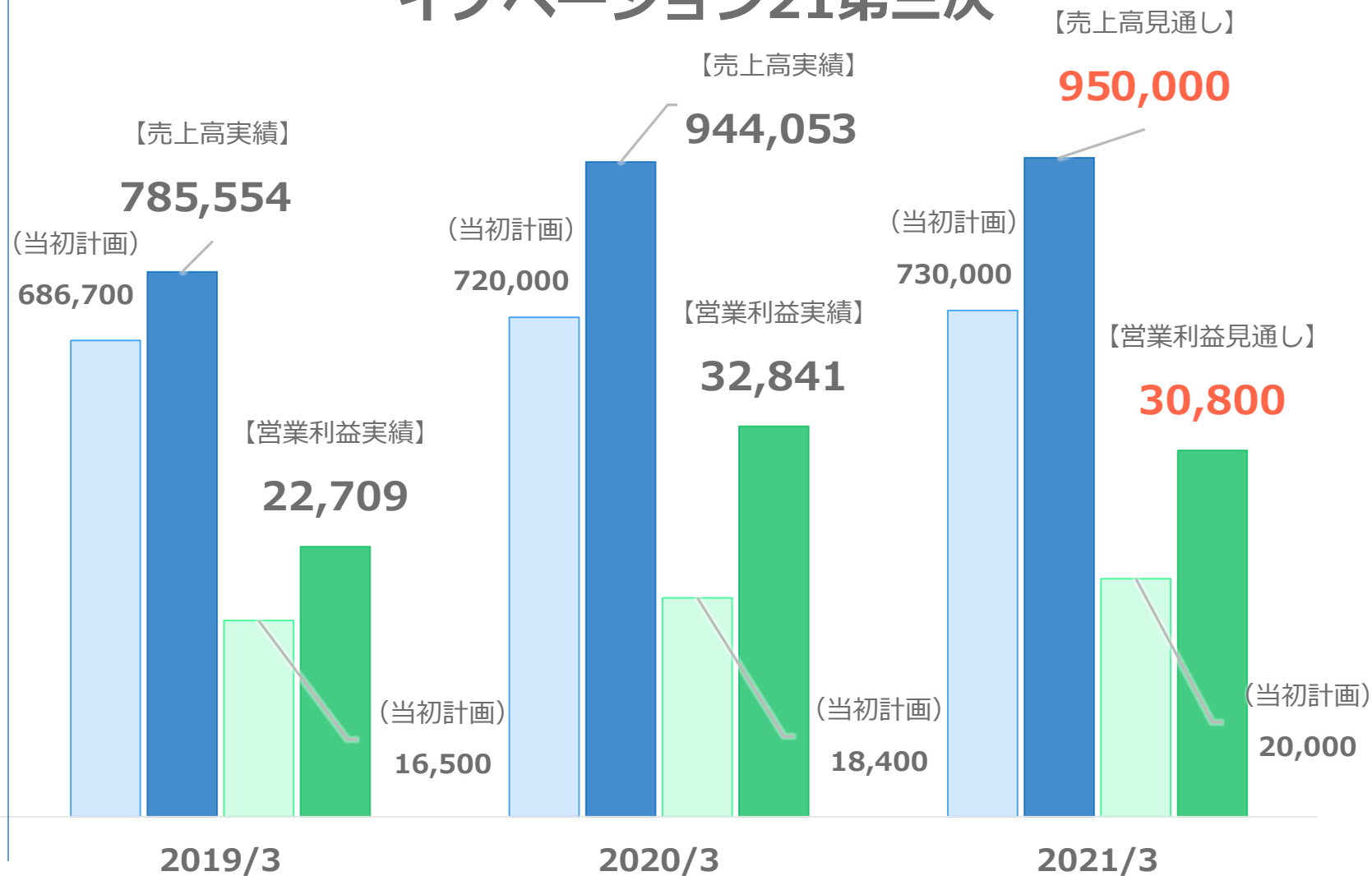
(百万円)

イノベーション21第二次 (実績)

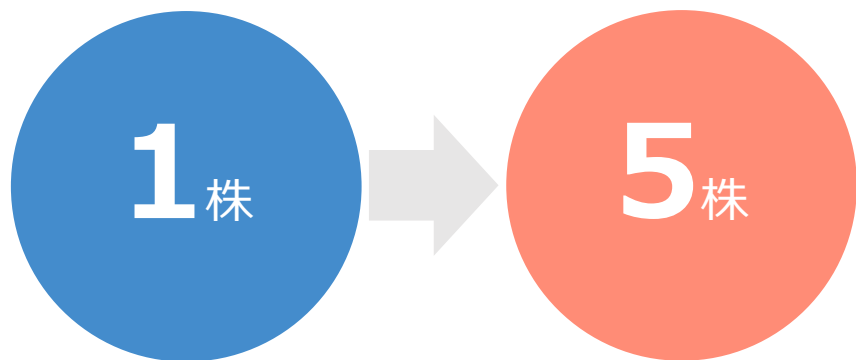
- 連結売上高
- 連結営業利益



イノベーション21第三次



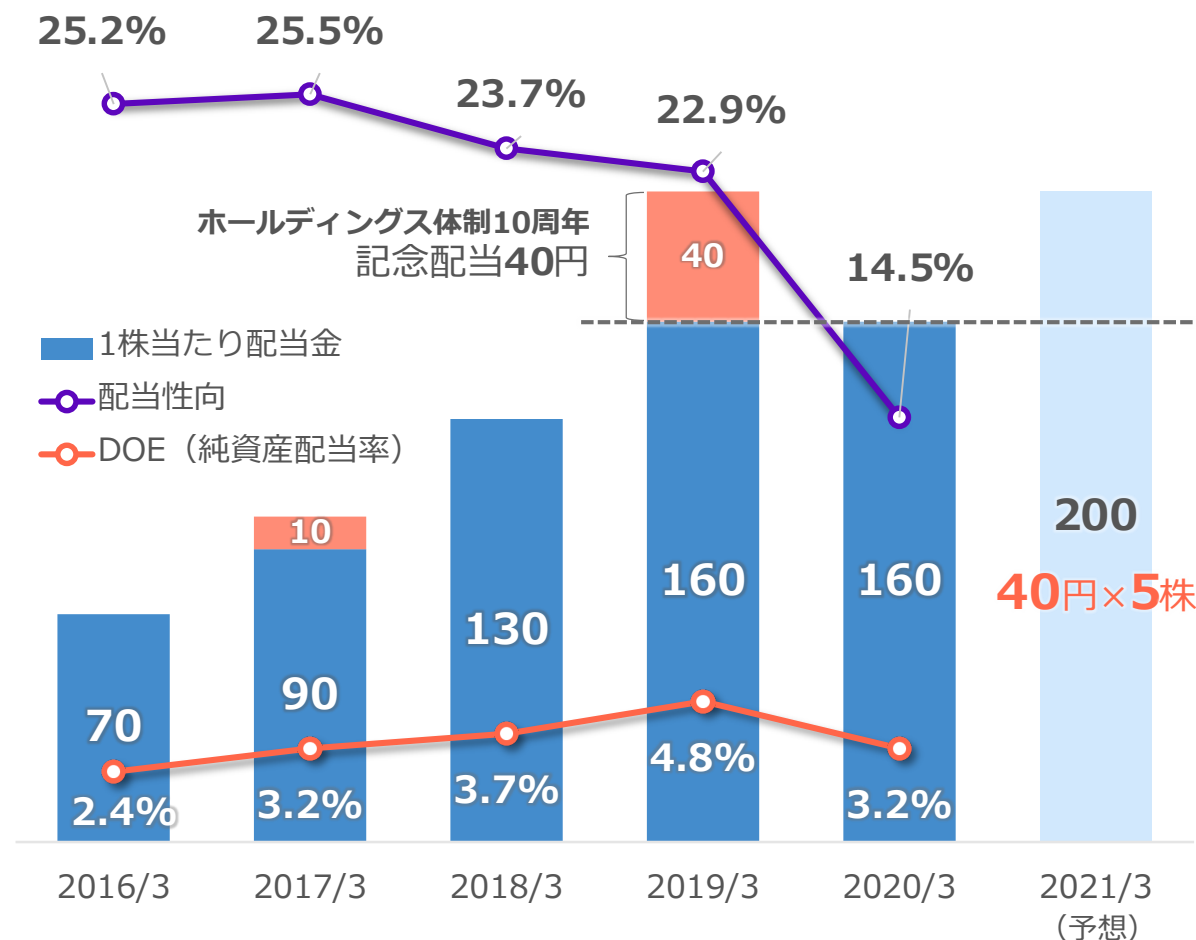
株式分割



1株につき5株の割合

目的	投資家層の拡大と株式の流動性の向上
基準日	2021年3月31日
効力発生日	2021年4月1日

実質40円増配

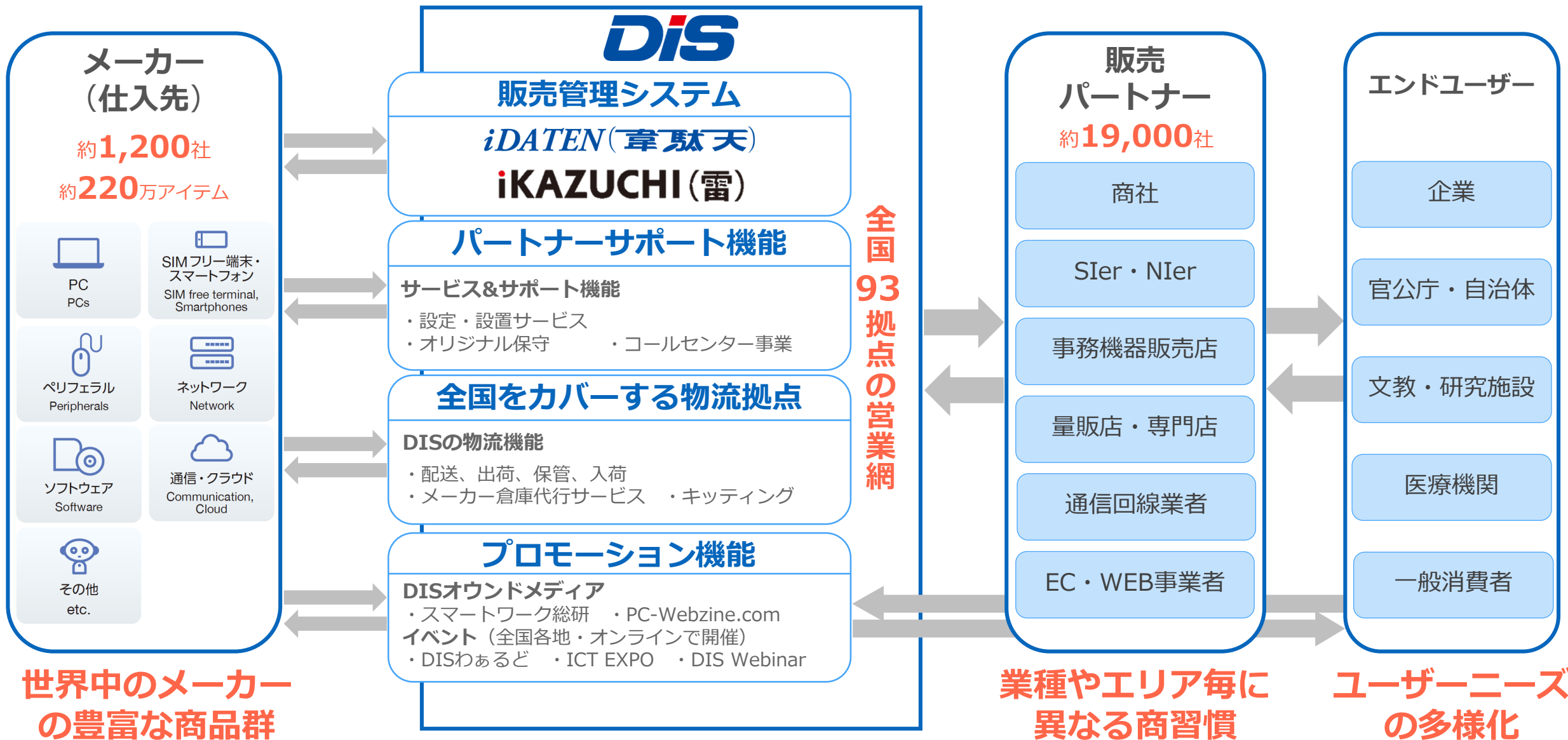


(注) 2017年10月1日に単元株式数を1,000株から100株に変更するとともに、株式について10株を1株への併合を実施

(注) 1株当たり配当金については全て併合後に換算して表示しています

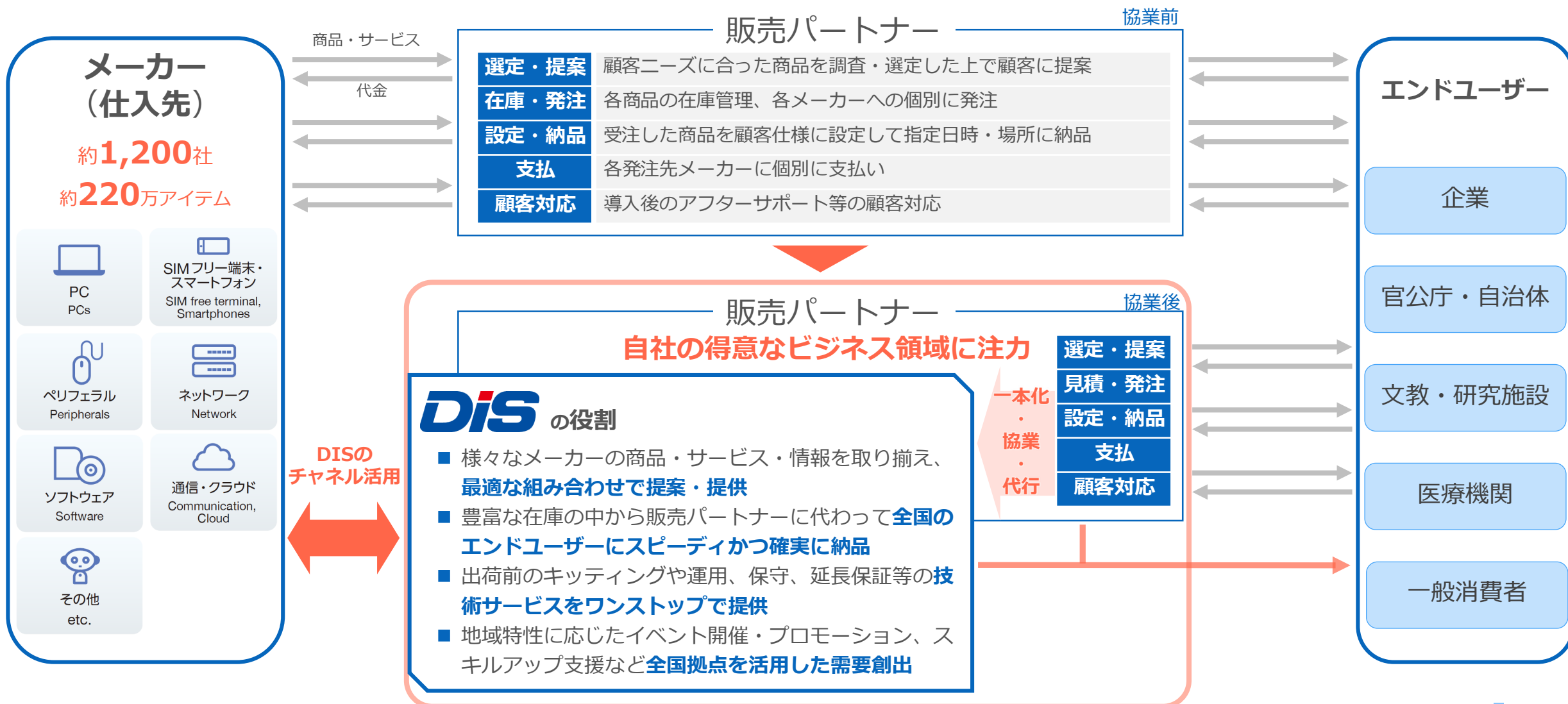
| ITインフラ流通事業

ITインフラ流通事業の事業構造



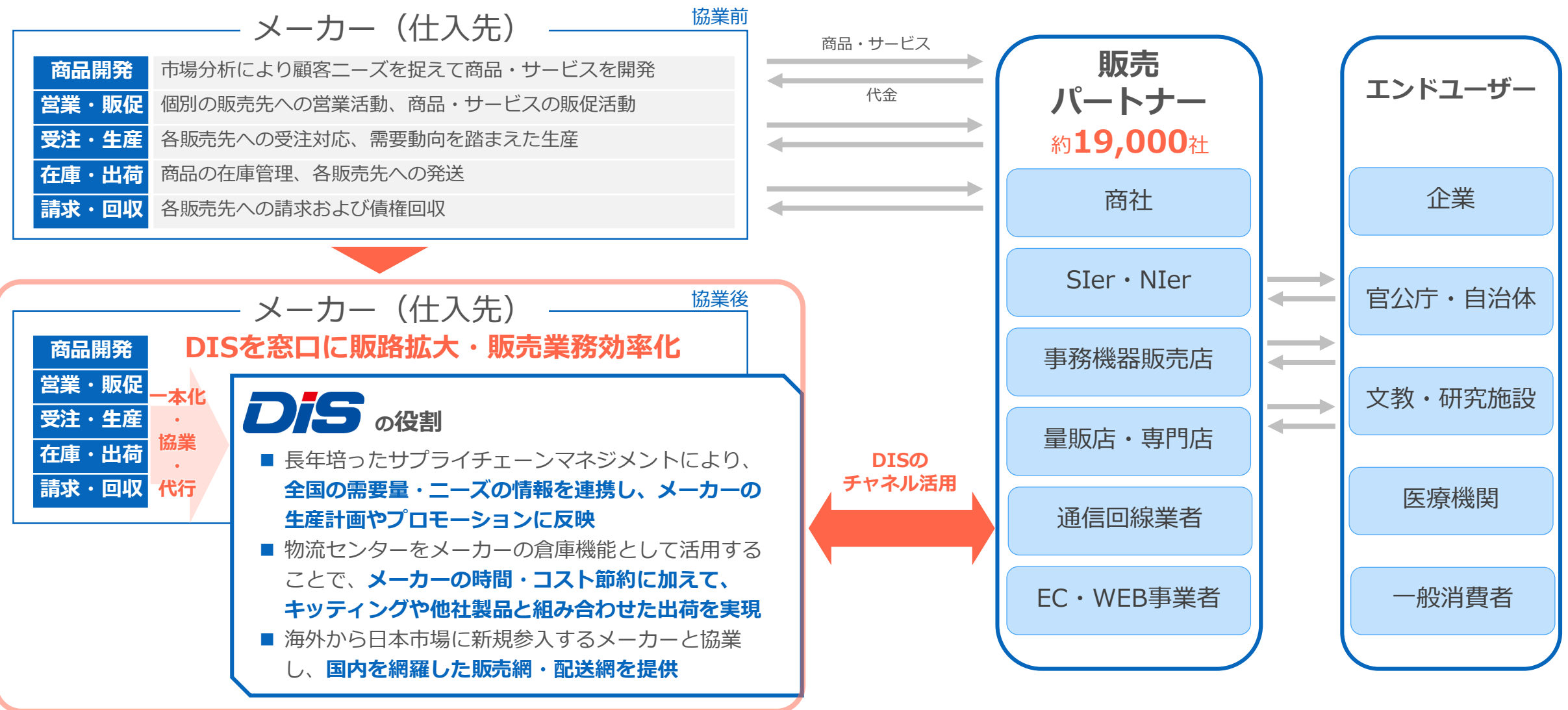
ディストリビューターの付加価値

販売パートナー × DIS

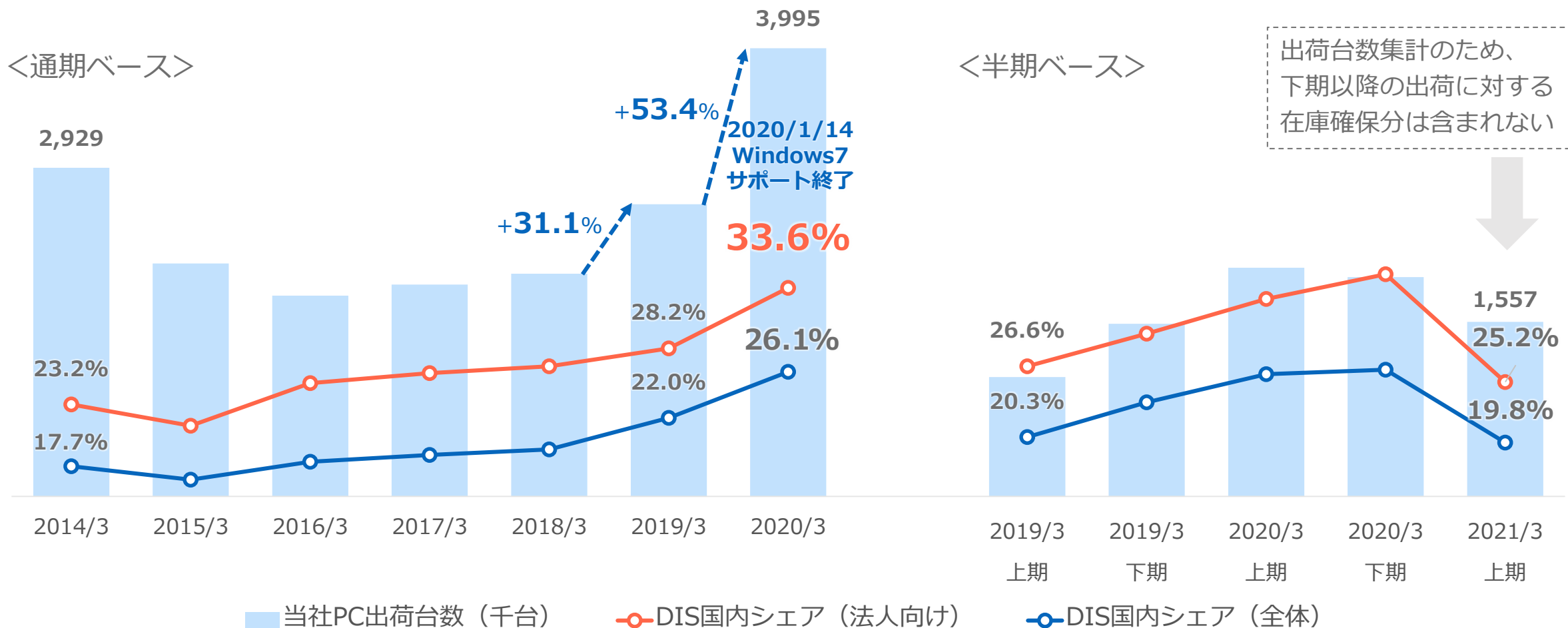


ディストリビューターの付加価値

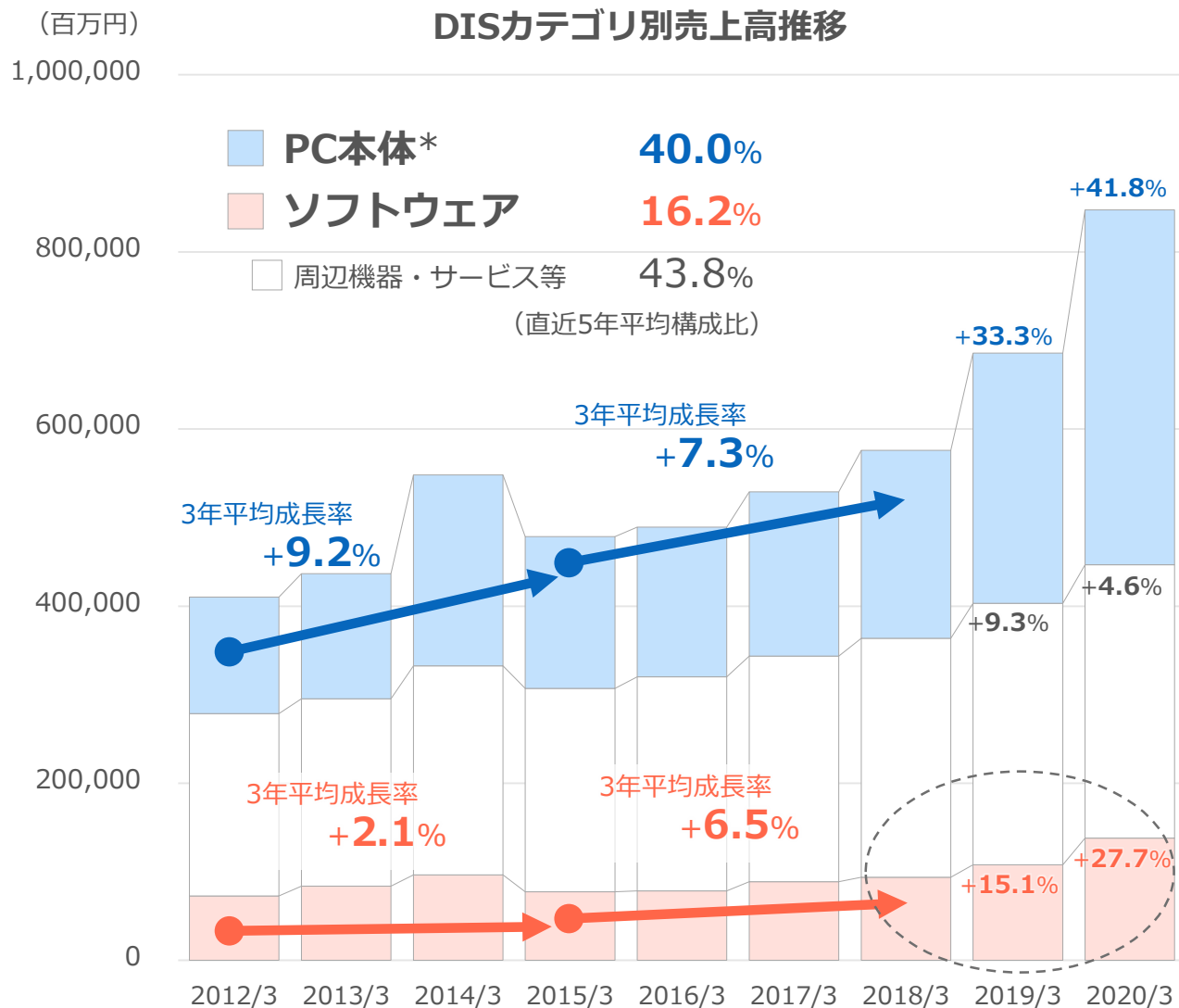
メーカー（仕入先） × DIS



法人利用のPC **3**台に**1**台程度は当社が関与



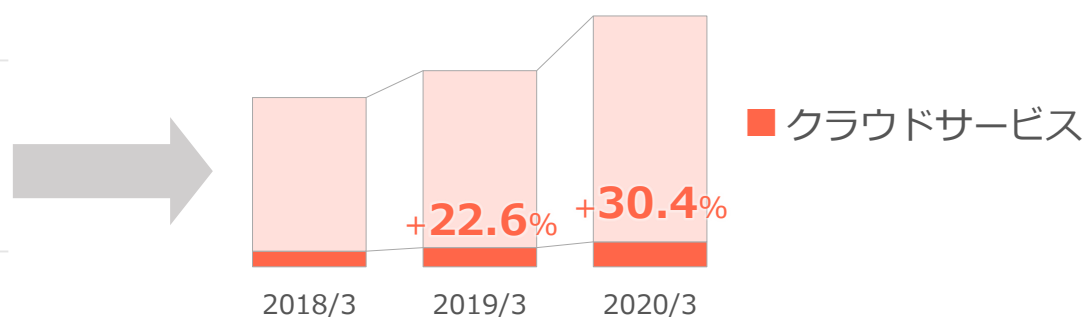
※MM総研調査結果より算出



- PC需要増・マーケットシェア拡大
- DISの強みである**複合提案の推進**によりPC以外のカテゴリも継続的に成長
- 特にソフトウェアはクラウドサービスを含めて成長が加速

中長期的にあらゆる場面でIT需要・クラウド活用が広がる

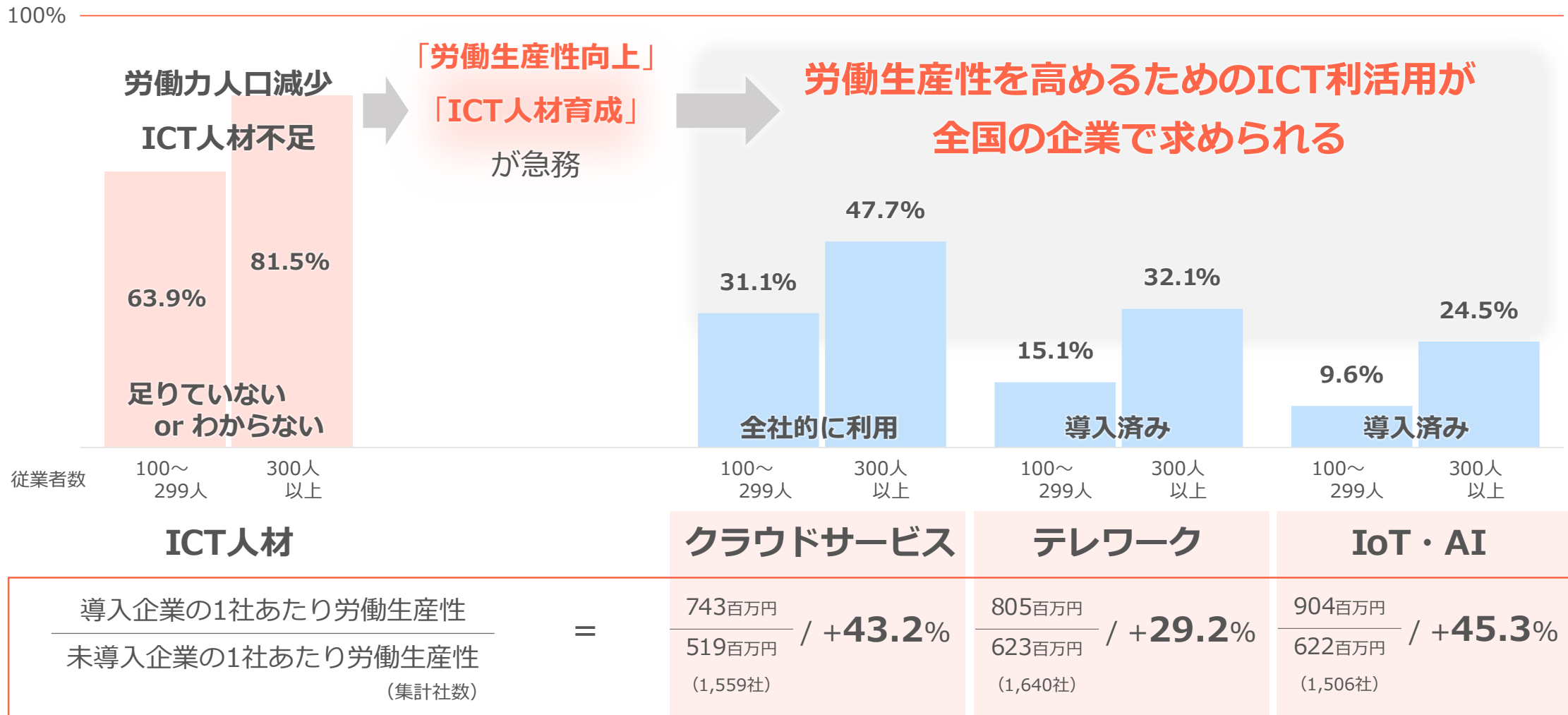
- | | |
|----|----------------------|
| 企業 | 「DX」「働き方改革」 |
| 行政 | 「デジタル庁」「ペーパーレス」 |
| 家庭 | 「在宅勤務」「在宅学習」 |
| 学校 | 「GIGAスクール構想」「EdTech」 |



*PC本体=PC、サーバー、タブレット、スマートフォン等の端末本体

企業のICT利活用状況

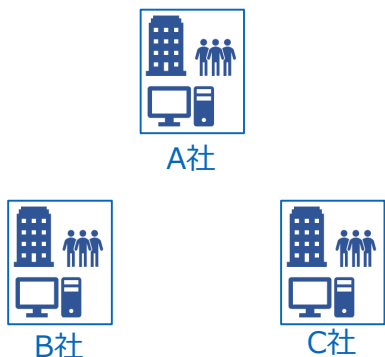
※2019年9月調査（新型コロナ禍以前）



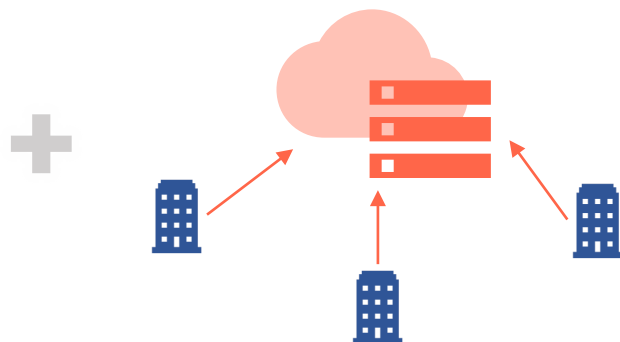
出典：総務省「令和元年通信利用動向調査」 ※労働生産性 = (営業利益+人件費+減価償却費) ÷ 従業員数

ITインフラ環境のクラウド活用イメージ

オンプレミス (自社運用)



クラウドプラットフォーム



- サーバー等の更新・保守
- セキュリティ・障害対策
- 機器設置場所・維持費
- 運用管理・データ保全 等

クラウド事業者のインフラを利用

※ユーザーが増えるほど
1社当たりのコスト負担は低減

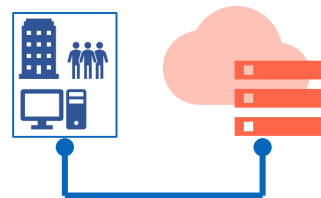
→ **巨大インフラへ**

- 構築・拡張時に初期費用発生
- 規模や機能は繁閑のピークや
トラブルを想定して余分に確保
- 機器手配・検証に時間が必要

- 初期費用不要 (サブスクリプション)
- 規模や機能は状況に応じて必要な分だけ
都度柔軟に設定変更
- 導入までの時間を大幅に短縮

「ハイブリッドクラウド」の需要が増加

オンプレミスとクラウドを併用



- データの機密性に応じた使い分け
- 機能・セキュリティのカスタマイズ
- 運用とコストの最適化

DIS × クラウドプラットフォームビジネス

- ▶ オンプレミスもクラウドプラットフォームも支援
- ▶ **複数のクラウドプラットフォーム**を提供
= 顧客ニーズに合わせて最適なクラウドを選択できる
- ▶ ハードウェアや他サービス等を複合的に組み合わせた
連携ソリューションを提案
- ▶ 複雑な契約・課金を**iKAZUCHI(雷)**で一元管理

iKAZUCHI(雷)掲載サービス

システム基盤	IaaS/PaaS/通信
アプリケーション	テレワーク/業務運用/生産性
セキュリティ	環境/保全/マネジメント



複数ベンダーとの協業により多種多様なサービスを順次追加
 月額/年額/従量など様々な課金形態のサービスを掲載
クラウドプラットフォームのラインナップ拡充

対応
ベンダー **51**社
(2020年9月現在)



対応サービスの最新情報
<https://www.ikazuchi.biz/>

申込 ↑ ↓ プロビジョニング



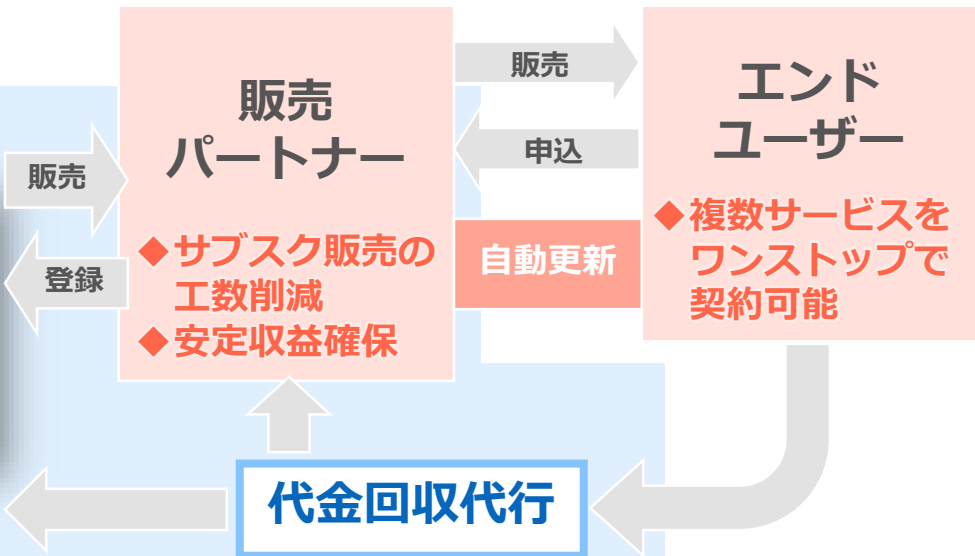
販売パートナー向けサブスクリプション管理ポータル



- 複数サービスを一括管理
- 顧客単位でリアルタイム管理
- 様々な支払いサイクルに対応
- エンドユーザー向けの情報提供



多様化するサブスクリプションサービスの注文工数を削減
 継続型ストックビジネス契約の一元管理を実現するポータルサイト



**販売
パートナー**

- ◆サブスク販売の工数削減
- ◆安定収益確保

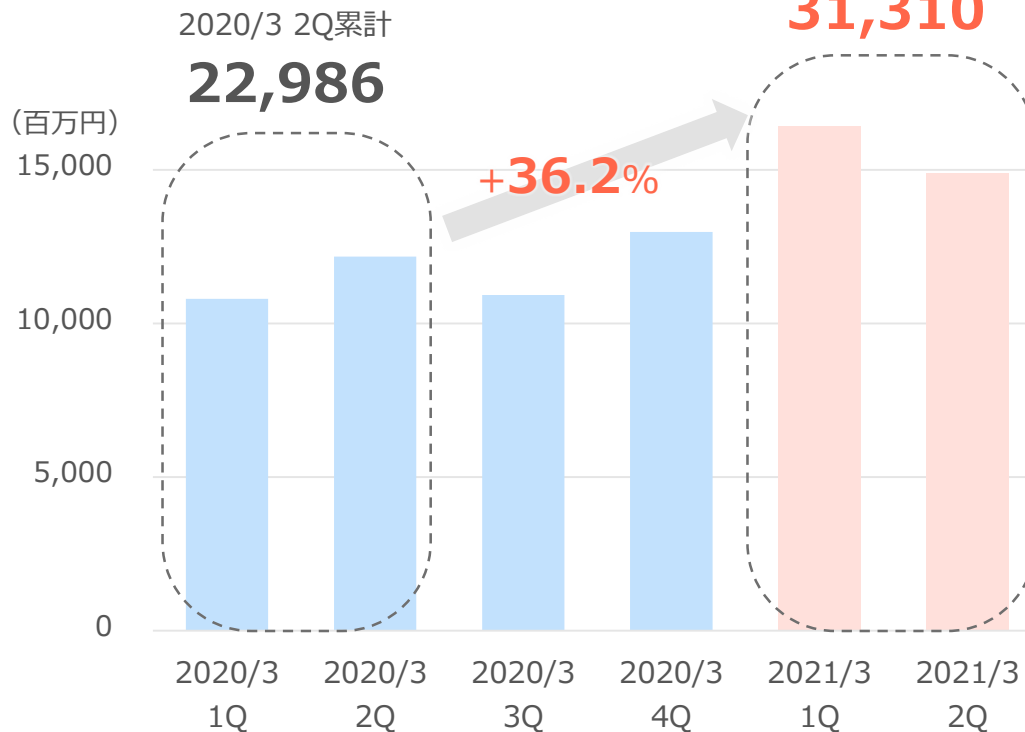
**エンド
ユーザー**

- ◆複数サービスをワンストップで契約可能

代金回収代行

サブスクリプション売上高

(DIS単体)

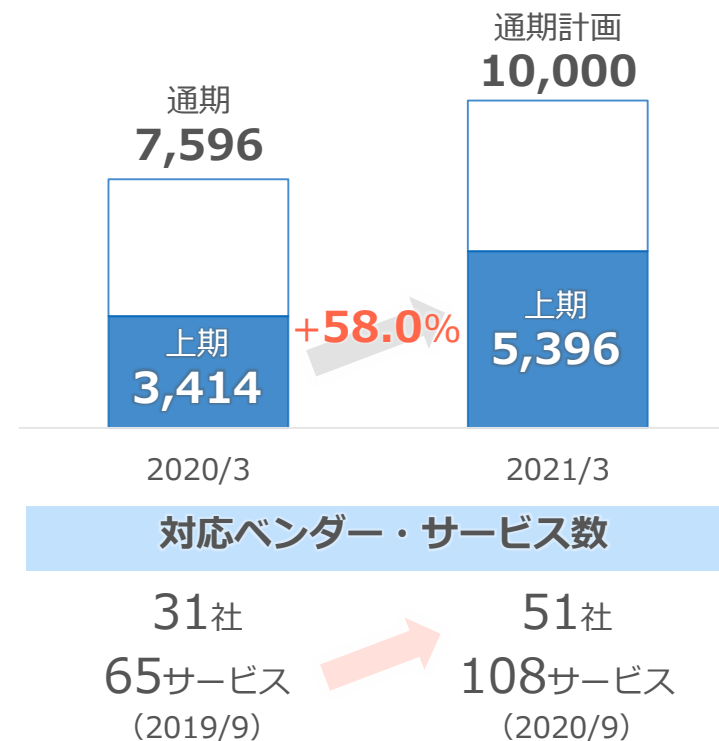


サブスクリプション

課金形態（月額・年額・従量等）を問わず、ユーザーが契約終了しない限り、継続的に収益が見込める商品・サービスとして定義
 ※通信サービスおよび保守を除く

iKAZUCHI(雷)売上高

サブスクリプション管理ポータル「iKAZUCHI(雷)」を通じた販売パートナーへの売上高



サブスクリプションビジネスの市場を拡大し継続収益の「地盤」を強化



GIGAスクール構想

- ・ 児童生徒1人1台の端末および高速大容量の通信ネットワークの整備
- ・ 公正に個別最適化された学びを全国の学校現場で持続的に実現

国家予算

令和元年度補正予算
「GIGAスクール構想の実現」

2,318億円

1. 校内通信ネットワーク整備 1,296億円
2. 1人1台の端末整備【国公立の小中学校】
→1台上限4.5万円補助 1,022億円

令和2年度補正予算 →感染症緊急経済対策 (2020/4)
「GIGAスクール構想の加速による学びの保障」

2,292億円

うち「1人1台端末」の早期実現 1,951億円

約3,000億円の端末補助

※並行して地方財政措置により2022年度までに3クラスに1クラス分の端末整備が進められるため、GIGAスクール構想予算による補助金は必要台数の3分の2が対象

【参考】 公立学校における学習者用PCの整備状況 (全国平均)

	2018/3	2019/3	2020/3
小学校	6.4人/台	6.1人/台	5.5人/台
中学校	5.5人/台	5.2人/台	4.8人/台
高等学校	4.6人/台	4.2人/台	4.1人/台

GIGAスクール構想の実現により 1人1台環境が整備される見込み

納品完了時期	自治体数 (8月末時点)
納品済み (~2020/8)	36自治体 (2.0%)
2020/9~2020/12予定	489自治体 (27.0%)
2021/1~2021/3予定	1,280自治体 (70.6%)

- 端末更新、保守・設定作業等の継続的な需要増加
- 教員研修・ICT活用提案、デジタル教科書の普及
- 高校向けの端末導入も加速

出典：文部科学省「学校における教育の情報化の実態等に関する調査」
文部科学省「GIGAスクール構想の実現に向けた調達等に関する状況 (8月末時点) について」

DIS School Innovation Project

2013～2014年度
最大規模の産学官連携による
普通教室におけるICT活用実証研究を実施

21自治体32校

地域特性・学校規模などを踏まえた
最適なシーンでのICT活用事例・ノウハウを蓄積

文教専門チームによる継続的な取り組み

セミナー・WEB等によるプロモーション

教育ICT導入コンサルティング

蓄積

活用

新たな実践事例・運用ノウハウ



全国の
販売
パートナー

全国の
教育委員会
学校等

地域密着の営業体制

- 全国各地の文教販売パートナーとの協業体制
- 新製品・サービス等を検証し、いち早く情報提供

全国の教育市場をカバー

独立系マルチベンダー

- 特定のメーカー・OSに偏重しない調達力と豊富な在庫
- 周辺機器・ソフトウェア等を組み合わせ合わせた複合提案

ユーザーに最適な提案

ワンストップサービス

- キットティング
- 設置・設定
- 延長保証
- 修理
- データリカバリ
- 教員向け研修

導入から運用まで支援

協業メーカーおよび販売パートナーとの強固な連携によりGIGAスクール構想の実現に貢献

関西センター（神戸市）



2020年5月本格稼働

倉庫面積：36,342㎡

関東中央センター（埼玉県吉見町）



2016年6月本格稼働

倉庫面積：44,753㎡



東西メガセンターを中心に
効率化・生産性向上に注力

ロボットストレージシステム

→作業効率・スペース最適化
【ロボット稼働台数】
関東中央：45台、関西：30台

キittingセンター併設

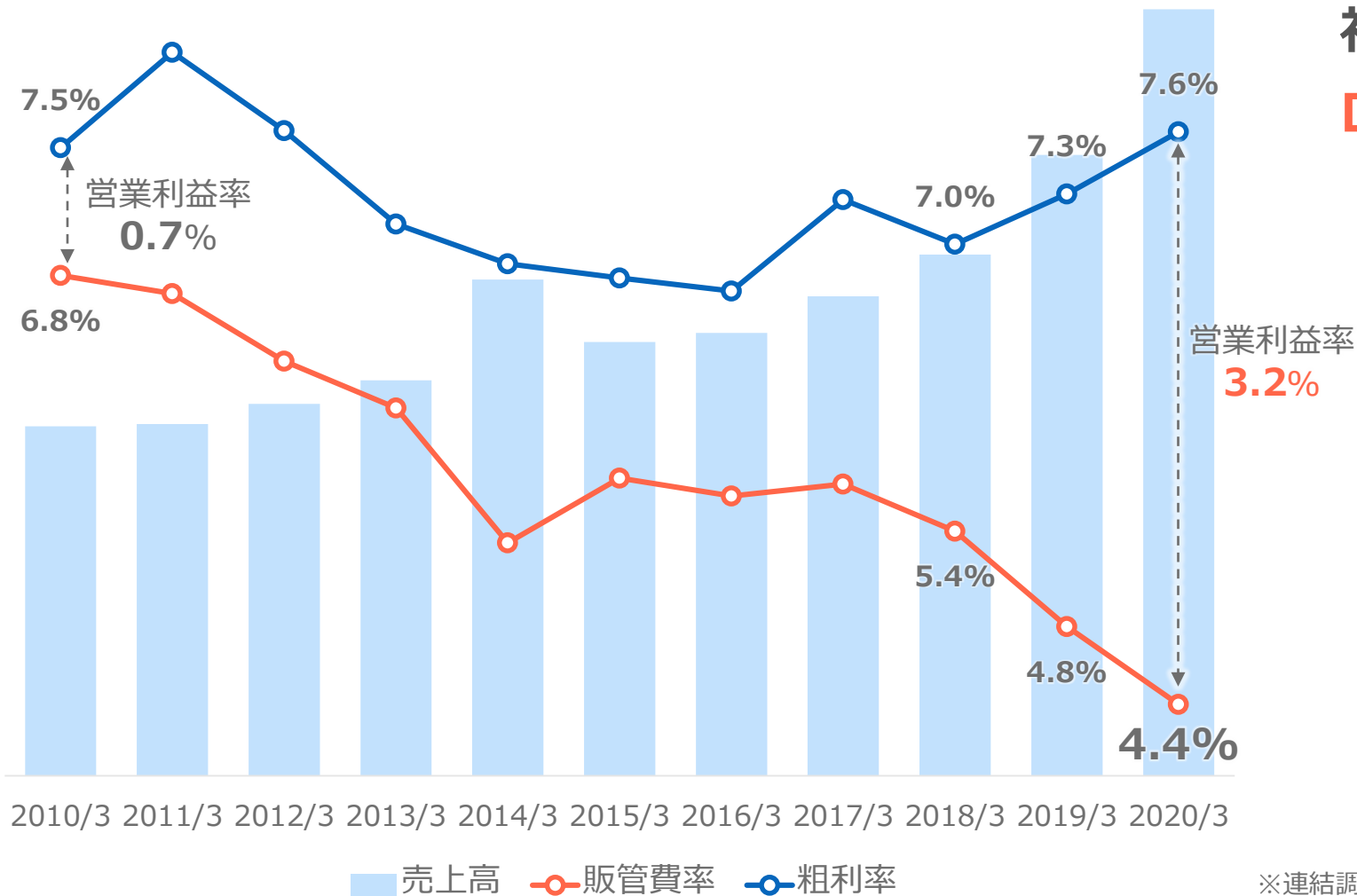
→入荷＞作業＞出荷に迅速対応
PC・タブレット
キitting実績：年間25万台（2020/3期）

トラック予約受付システム

→入出荷情報の共有・車両平準化



(ITインフラ流通事業 実績)



社内システムへの積極投資による ローコストオペレーションの徹底

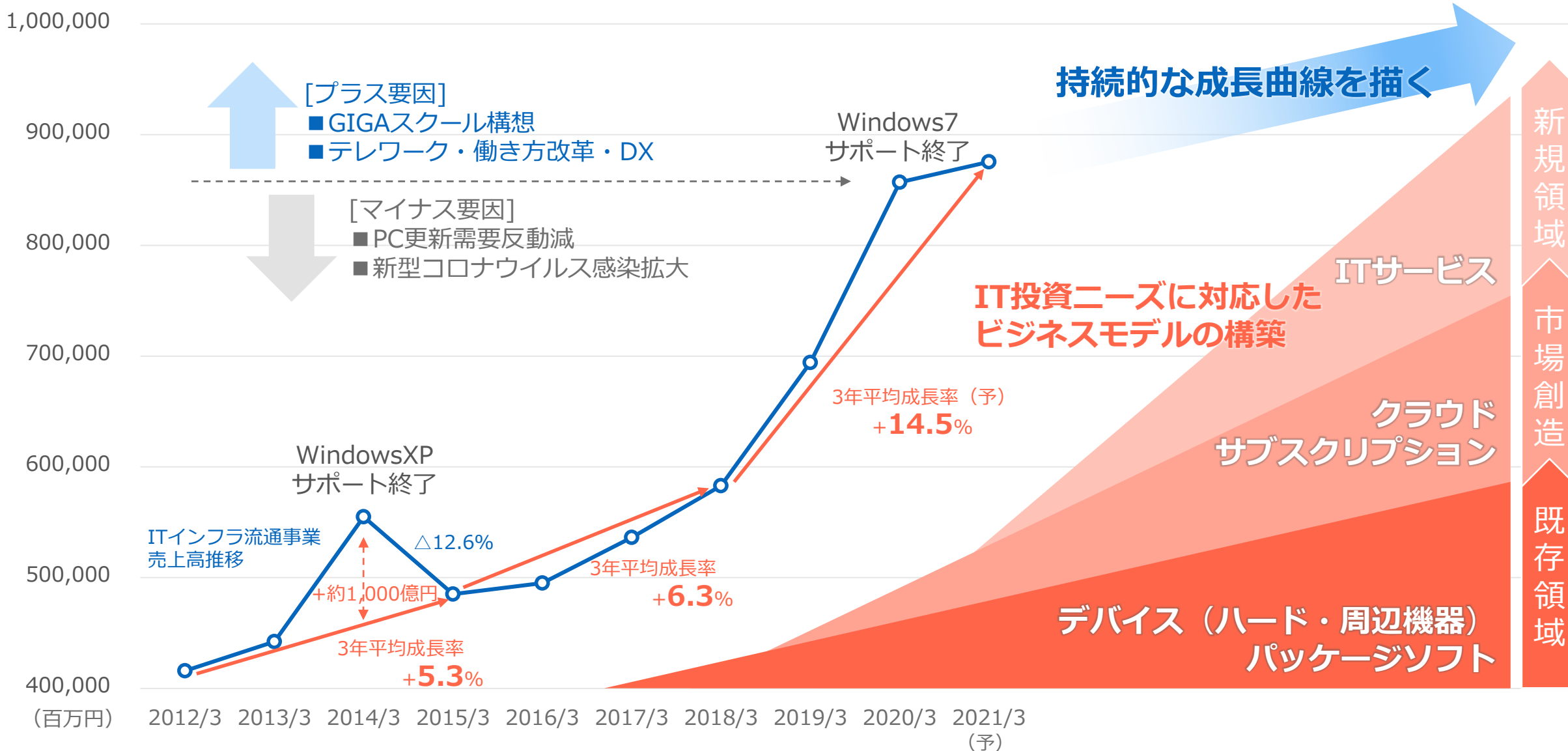
基幹システム「DIS-NET」

- 1998 DIS-NET
- 2005 DIS-NET II
- 2013 DIS-NET III
- 2020 **DIS-NET IV**

営業効率を最大化する
すべてのシステムと連動

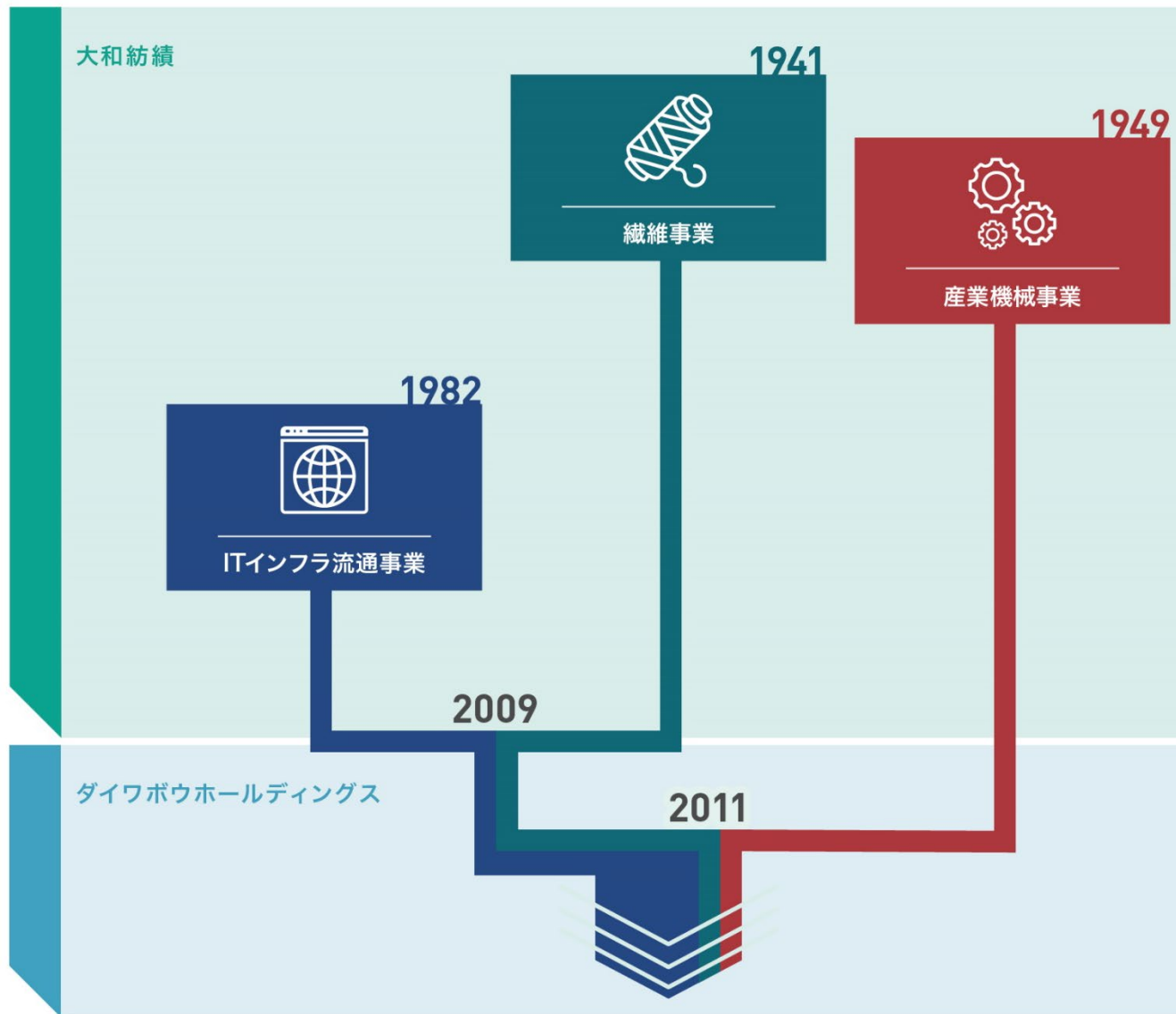
※連結調整を反映しておりませんのでセグメント実績とは異なります

ITインフラ流通事業の成長戦略



【参考資料】 会社概要

グループの沿革



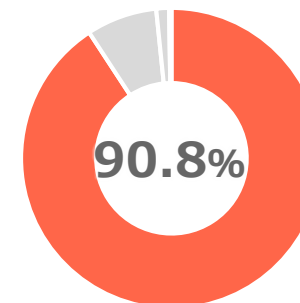
- 1941. 4 錦華紡績、日出紡織、出雲製織および和歌山紡織の4社が合併し、**大和紡績**として発足
- 1949. 5 ▶大和紡績が東証1部上場
- 1949. 7 大和紡績が穴道工場を分離し、大和機械工業（現**オーエム製作所**）を設立
→その後、工作機械・紡績機の製造を手掛けていた大阪機械製作所と1960年に合併しオーエム製作所が誕生
- 1971.11 ▶オーエム製作所が東証1部上場
- 1982. 4 大和紡績が新規展開の一環として、情報関連事業へ進出するために**ダイワボウ情報システム**を設立
- 2000. 9 ▶ダイワボウ情報システムが東証1部上場
- 2009. 3 大和紡績とダイワボウ情報システムが経営統合
- 2009. 7 大和紡績が**ダイワボウホールディングス**へ商号変更
繊維事業の中核会社として新たに**大和紡績**を設立
- 2011. 7 ダイワボウホールディングスがオーエム製作所と経営統合 ⇒**現在の主力3事業体制へ**

主要な事業セグメントの概要

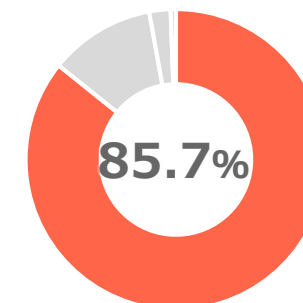
ITインフラ 流通事業

IT関連商品を取り扱う国内最大級のディストリビューター
全国93拠点での地域密着営業によるパートナー企業との協業体制が強み
特定のメーカーに特化しない独立系マルチベンダーで、PCをはじめとした
世界中のメーカー約1,200社の商品・サービスを販売

売上高比率



営業利益比率



繊維事業

合織・レーヨン部門

紙おむつ等の衛生材料用途の合織綿、生分解性の高いレーヨンなどの繊維素材・製品を展開

産業資材部門

工業資材、フィルター製品、土木資材・重布製品、ゴム製品などの産業領域の繊維製品を展開

衣料製品部門

各種繊維原料および機能性インナーなど繊維製品の開発と製造販売、ライセンスブランド衣料品の製造販売

7.6%

11.4%

産業機械 事業

工作機械部門

航空宇宙分野などの重工業を中心に活用される工作機械である「立旋盤」の製造で国内トップシェア

自動機械部門

食品・医療品など幅広い業界に対して包装・梱包の自動機械を製作納入

1.4%

2.3%

(2020年3月期実績)

合織・レーヨン



спанレース不織布

- 紙おむつや生理用品などの衛生材用に使用される合成繊維
- 乳幼児用おしり拭きや除菌シート、フェイスマスクなどの生活資材に使用される不織布（織らずに水や針などの特殊な方法で繊維を絡み合わせたシート）
- アスベスト代替として使用され、モルタルのひび割れを自己治癒することのできる繊維
- 木材パルプから生産される生分解性の高いレーヨンを加工した不織布製品・衣料製品

産業資材



カートリッジフィルター



建設現場の防音シート

- 化学・電子・食品業界など幅広く活用される不純物をろ過するカートリッジフィルター
- トラック幌やテント倉庫に使用される重布、防水シートや緑化ネットなどの土木資材
- 自動車部品・家電など多様な用途に使用される高品質ゴムスポンジ製品
- 建設現場の防音シートや養生メッシュなどの各種産業用シート

衣料製品



「FILA」ブランドの衣料品

- 機能性インナーや高密度織物、快適アウターなどの衣料・リビング用素材・製品
- ライセンスブランド衣料品
「FILA」 「T&C」 「Prince」 「NCAA」

立旋盤



- 中・大型で**国内シェアNo.1**（累計出荷台数**7,000**台超）
- 「立旋盤のオーエム」として国内外で高い評価を獲得
- 工作物を水平方向に回転するテーブルに取り付けて切削する機械で、テーブル径は800～8,500mmと幅広く多様な生産形態に対応し、高剛性・高精度で操作性に優れ、航空機エンジンの部品をはじめ、あらゆる分野のマザーマシンとして活躍
- 左の写真は小型汎用機「RT-915」

車輪旋盤



- 鉄道車両のメンテナンスに使われる専用工作機械で鉄道の安全と乗り心地の向上に寄与
- 床下車輪旋盤で**国内シェアNo.1**
- 世界初の車輪旋盤を製作し全世界向けに多くの納入実績のあるドイツのヘーゲンシャイト社より技術供与を受けて国産化、設計・部品・ソフトウェアはすべてオリジナル製作

自動機械



- カートナー（小箱詰機）や、個包装された商品を集積してフィルムで包む中間包装機、段ボールケーサーなど幅広い自動機械を製作（左の写真は横型連続カートナー）
- ライフサイクルが短く多様化が顕著な食品や、製造基準の厳格化が進む医薬品など、変化の激しい分野の包装工程のニーズに柔軟に対応できる技術と発想力が強み

ダイワボウホールディングス株式会社

グループ戦略の立案／グループ経営資源の最適配分／グループ業務執行の監督

ITインフラ流通事業 **ダイワボウ情報システム株式会社**

ディーアイエスサービス&サポート株式会社
ディーアイエスソリューション株式会社

繊維事業

大和紡績株式会社

※2020年4月、中間持株会社から合併により中核事業会社に体制変更

ダイワボウレーヨン株式会社
カンボウプラス株式会社
ダイワボウアドバンス株式会社
ダイワボウスピンテック株式会社
ディーエヌプロダクツ株式会社
ダイワマルエス株式会社
西明株式会社
王子ファイバー株式会社
朝日加工株式会社
ケービー産業株式会社
カンボウキャンバス・カッティング・サービス株式会社

<海外拠点>

Daiwabo Hong Kong Co., Limited
蘇州大和針織服装有限公司
大和紡工業（蘇州）有限公司
P.T. DAIWABO NONWOVEN INDONESIA
P.T. DAIWABO INDUSTRIAL FABRICS INDONESIA
P.T. DAIWABO SHEETEC INDONESIA
P.T. DAIWABO GARMENT INDONESIA
P.T. PRIMATEXCO INDONESIA

産業機械事業

株式会社オーエム製作所

株式会社オーエム機械
オーエム金属工業株式会社
オムテック株式会社

<海外拠点>

O-M (U.S.A.) ,INC.
欧安睦（上海）商貿有限公司

その他事業

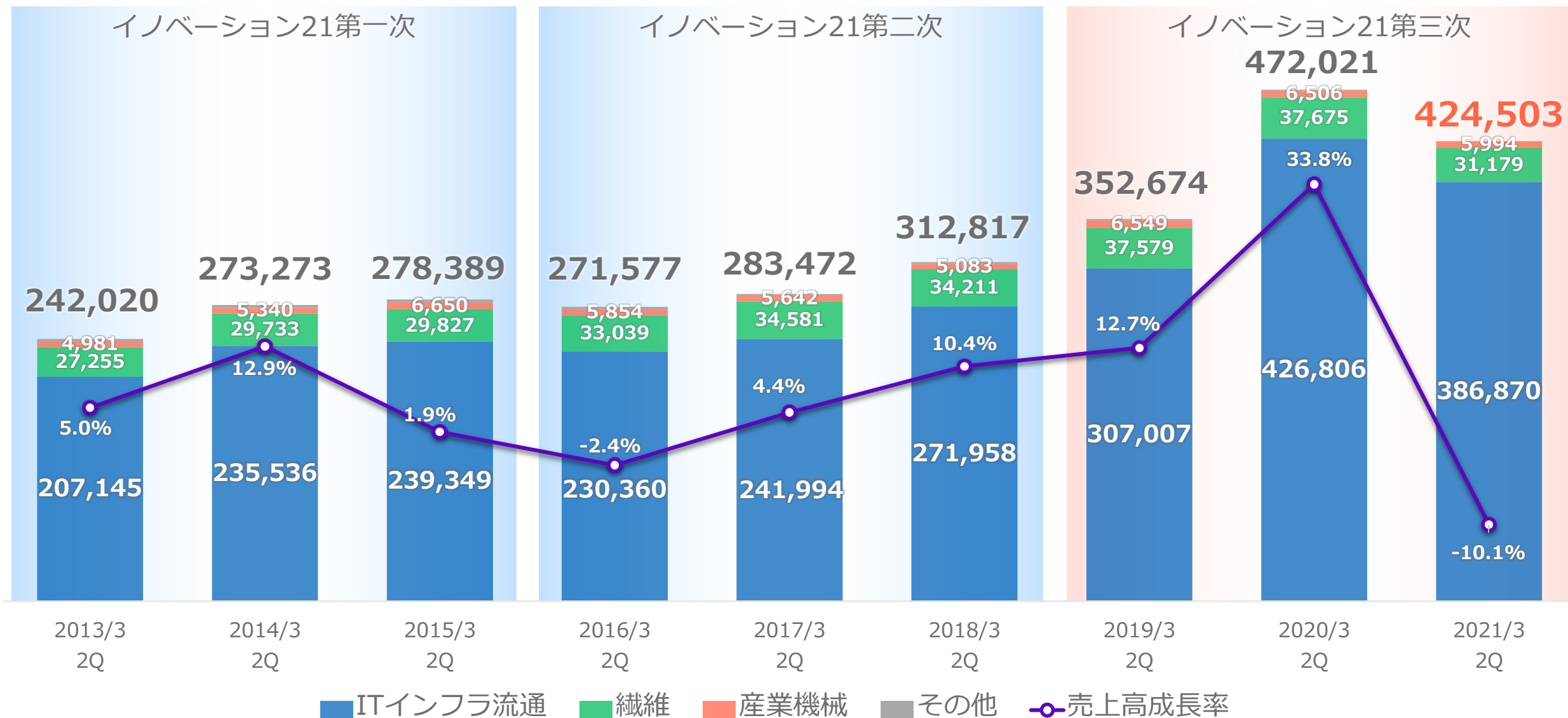
大和紡観光株式会社（霧島国際ホテル）
ダイワエンジニアリング株式会社
ダイワボウライフサポート株式会社

2020.11.25	ITインフラ	ダイワボウ情報システム、ディストリビューターとしてGoogle Workspace の取り扱いを開始
2020.11.13	産業機械	JIMTOF2020 Online 出展のお知らせ
2020.08.25	繊維	大和紡績 新ロゴマークの制定について
2020.07.29	ITインフラ	ダイワボウ情報システムがMicrosoft Azureの専門組織設立 中堅・中小企業市場のクラウド移行促進を目的に「DIS クラウドビジネスセンター for Microsoft Azure」を立ち上げ
2020.07.01	ITインフラ	ダイワボウ情報システム、DIS「おてがる遠隔授業パック」の提供とモニター校の募集を開始 初めて遠隔授業を行う先生方もWeb授業を簡単に実践
2020.07.01	ITインフラ	ダイワボウ情報システム、Amazon Web Servicesとパートナー契約を締結 国内初のディストリビューターとしてAWSビジネスを開始
2020.06.29	繊維	ダイワボウレーヨン、ドイツ・ケルハイムファイバースとの協力について
2020.06.23	ITインフラ	ダイワボウ情報システム、Microsoft Azureユーザーのサイバーリスク保険を追加料金なしで付帯 「DIS Azure サイバーリスクサポート」の提供を開始
2020.06.11	ITインフラ	ダイワボウ情報システム、開発系パートナー及びソリューションベンダー向けDX開発支援を本格化 IBM Cloud Pak製品をベースとした「DXアプリ開発環境」を提供開始
2020.06.01	ITインフラ	ダイワボウ情報システム、販売パートナー独自サービスの代金回収代行を開始 「iKAZUCHI Payment Collection」の機能を拡張し、代金回収を手数料ゼロで代行
2020.05.12	ITインフラ	ダイワボウ情報システムとジュニパーネットワークス、ミストシステムズ製品のディストリビューター契約を締結 全国の販売ネットワークを通じてAI駆動型の無線LANシステムの提供を開始
2020.04.08	ITインフラ	ダイワボウ情報システム、HYCUのバックアップサービスを6月30日まで無料提供 リモートワーカーの増加に対処する日本企業を支援

【参考資料】業績推移グラフ

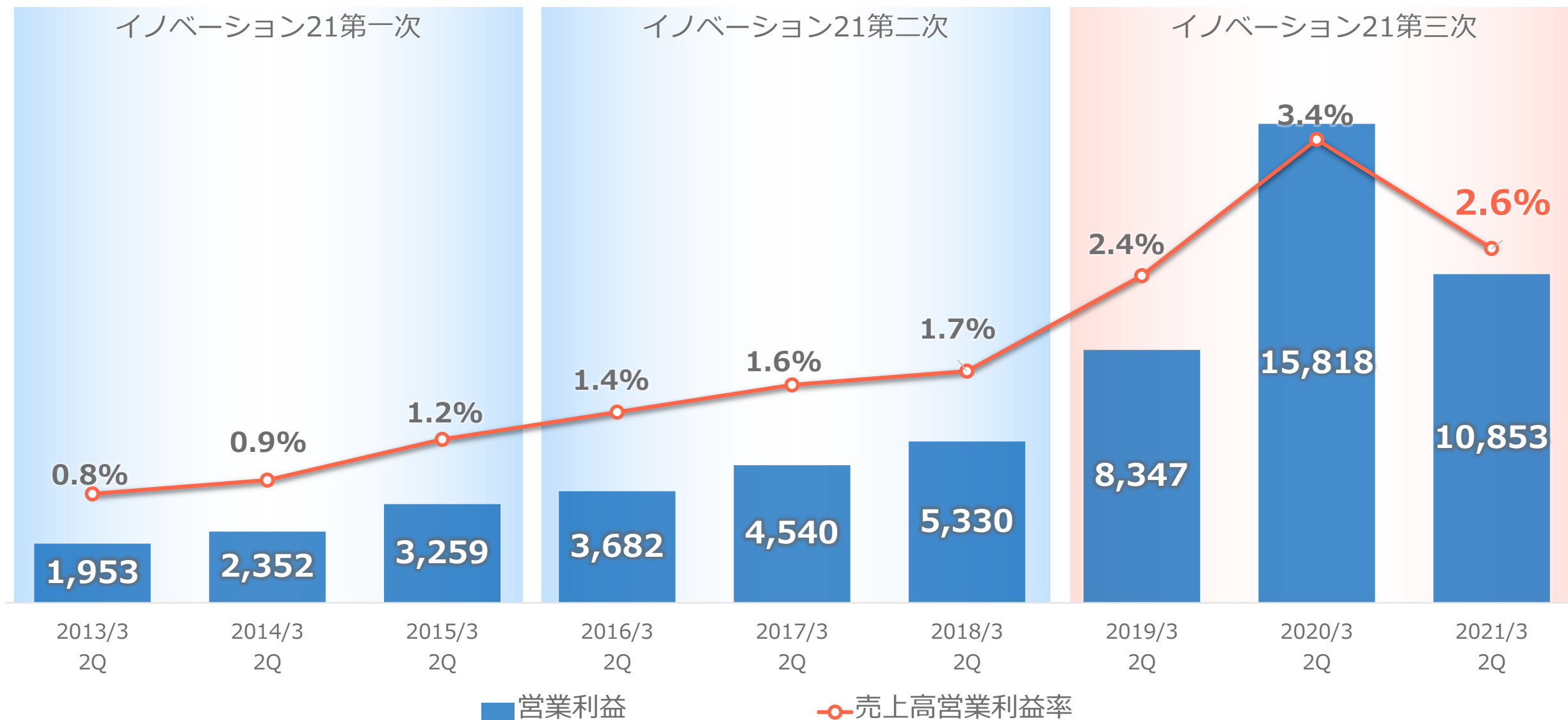
連結売上高（2Q累計期間）

(百万円)



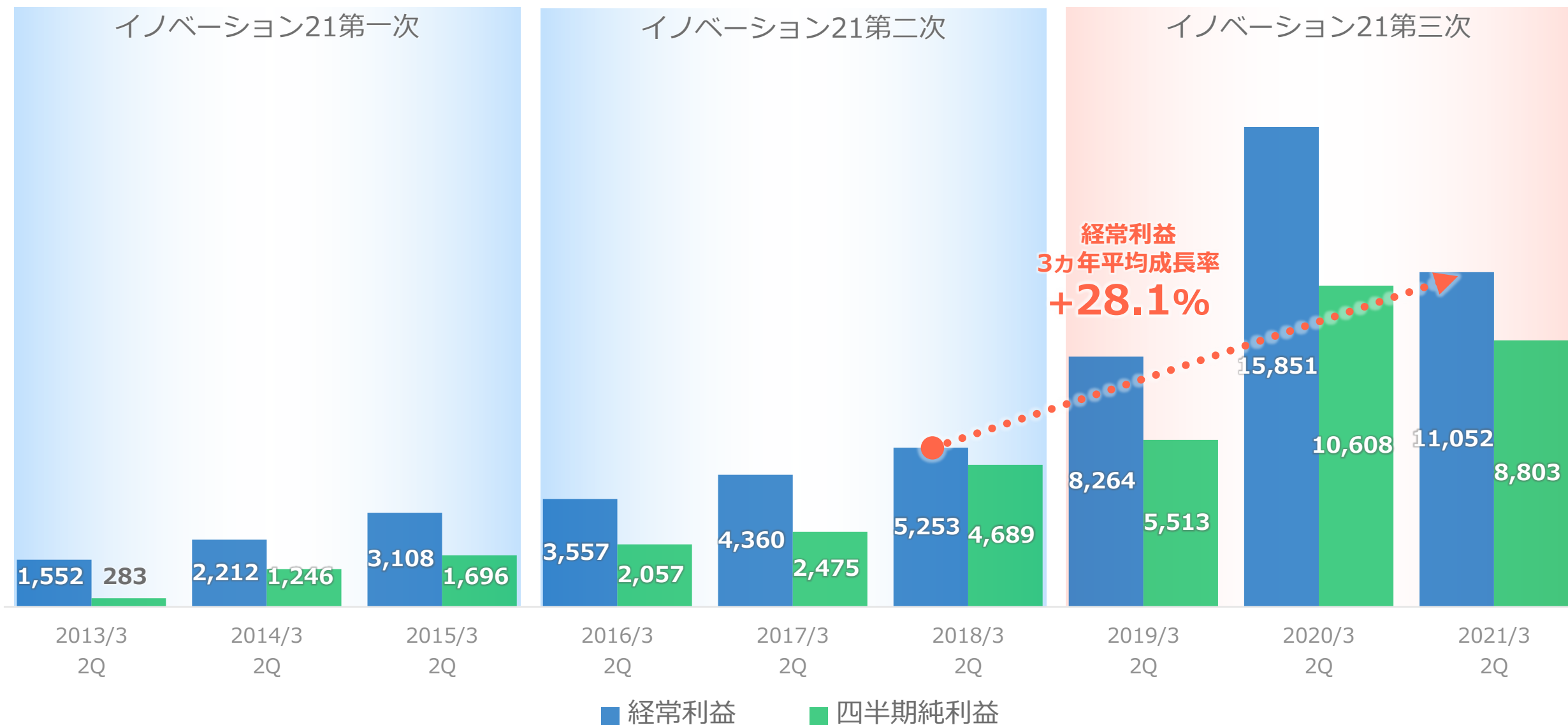
連結営業利益（2Q累計期間）

(百万円)



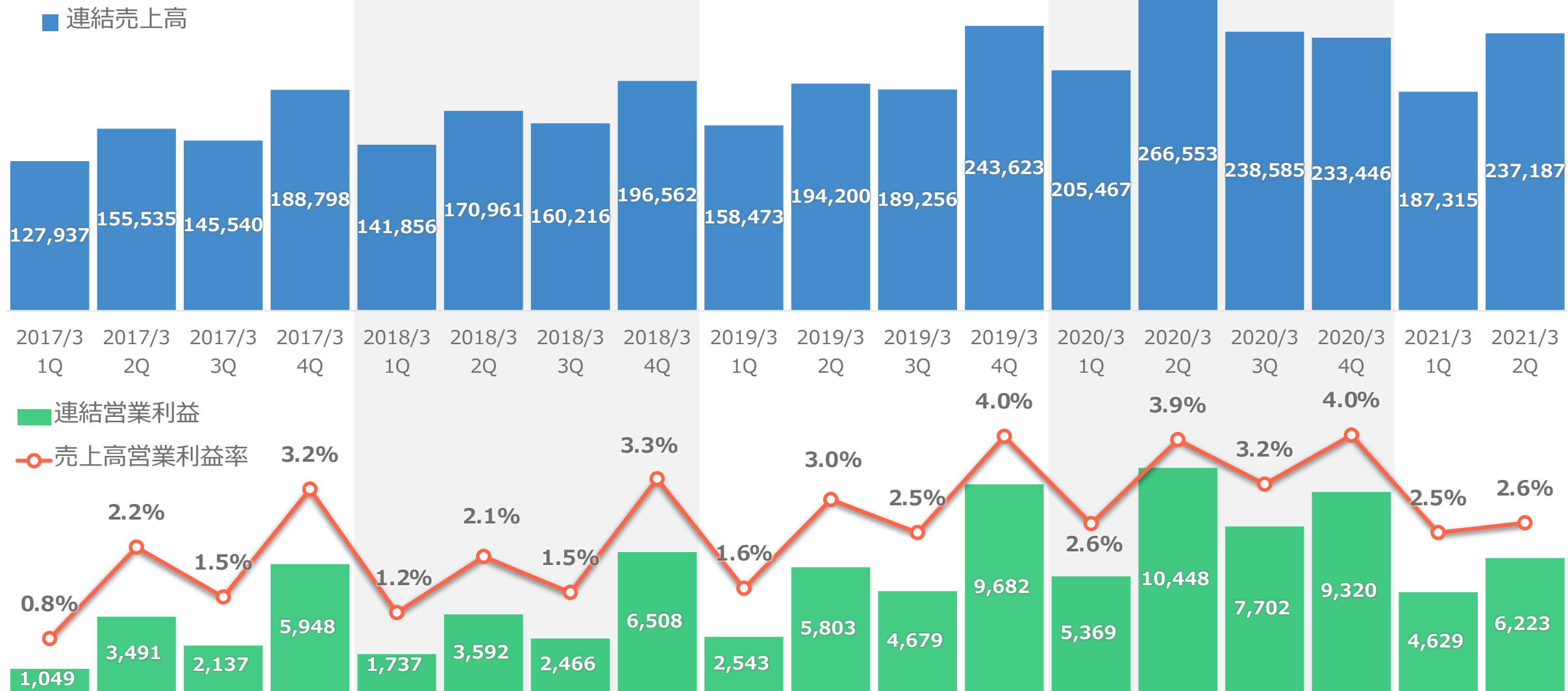
連結経常利益・連結四半期純利益（2Q累計期間）

(百万円)



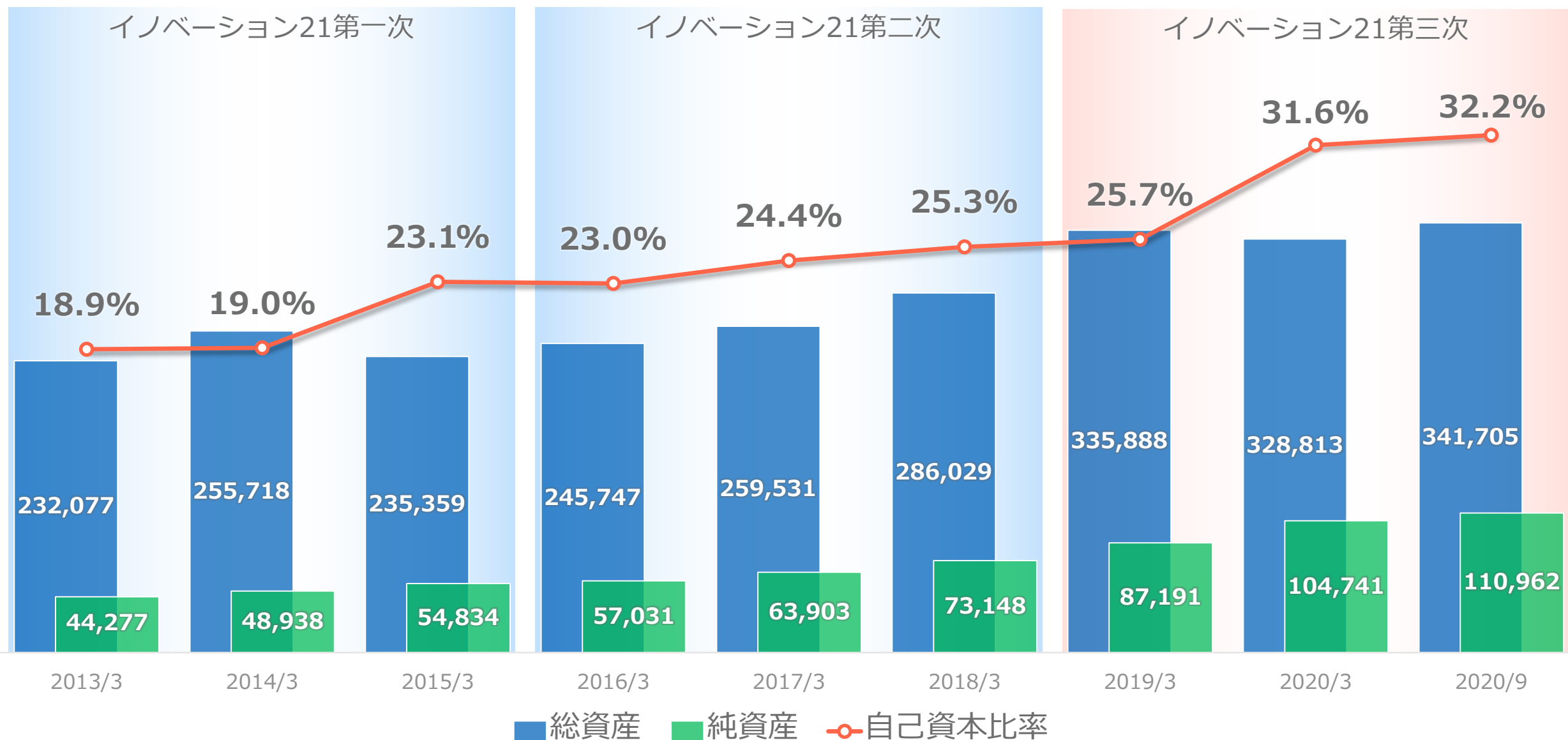
四半期別業績

(百万円)



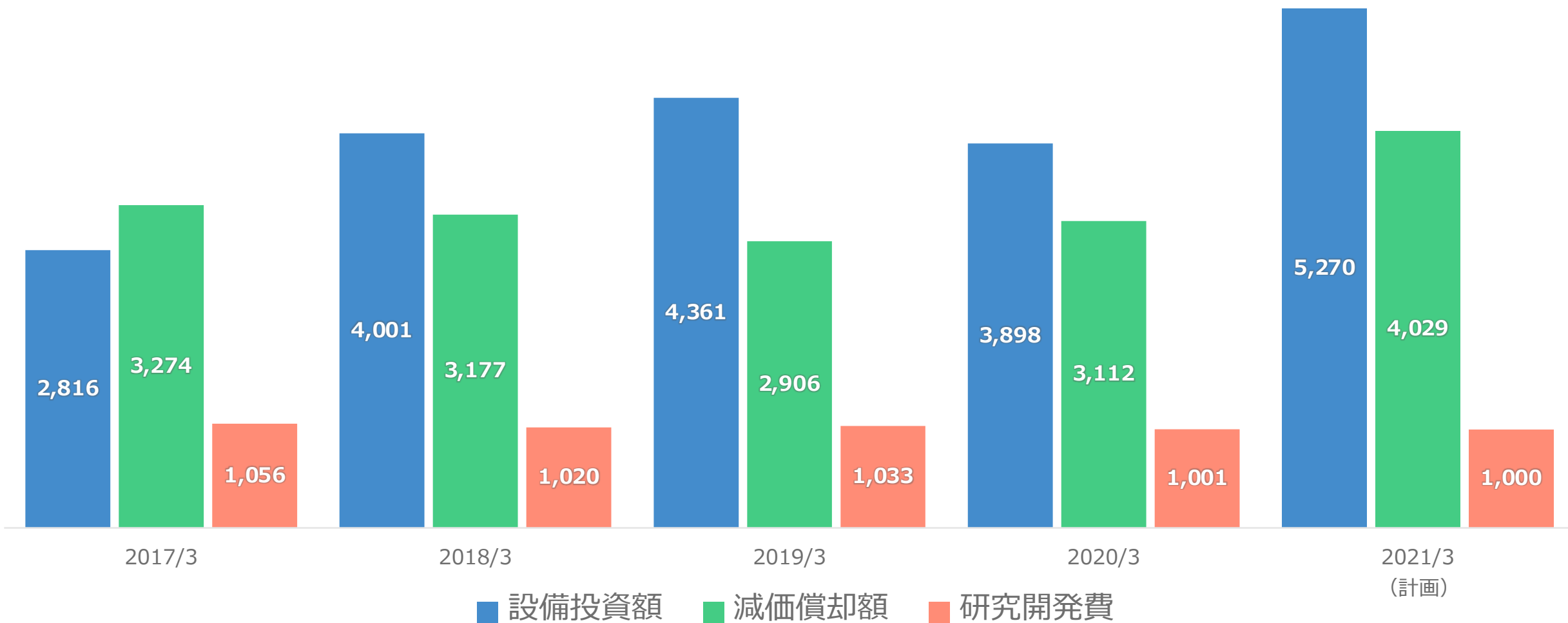
連結総資産・連結純資産・自己資本比率

(百万円)



設備投資額・減価償却額・研究開発費

(百万円)



<https://www.daiwabo-holdings.com/>



ダイワボウホールディングス株式会社

【免責事項】

本資料に記載された業績予想値等の将来に関する記述は、現在入手可能な情報をもとに、当社が現時点で合理的であると判断した一定の前提に基づいて作成したものであり、その正確性を保証するものではありません。実際の業績は、今後さまざまな要因により本資料の内容と異なる可能性のあることをご承知おきください。なお、当社は理由の如何にかかわらず、本資料の利用の結果生じたいかなる損害についても責任を負うものではありません。

※本資料中に記載されている会社名、製品名等は、各社の登録商標または商標です。